

# 2023年3月期 投資家向け説明会

2023年5月11日  
ソフトバンクグループ株式会社

## 免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）及びその子会社（以下SBGと併せて「当社」）並びに関連会社（以下当社と併せて「当社グループ」）に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものではありません。

また、本資料は、Arm Limitedが発行する証券の購入または応募の申込み、またはその勧誘を構成するものではありません。あらゆる証券の購入または応募の申込み、またはその勧誘は、1933年米国証券法（改正法も含む）およびその他の適用証券取引関連法令に従い登録制に基づき行われます。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「あるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績を保証するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド（下記で別途定義）並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」(https://group.softbank/ir/investors/management\_policy/risk\_factor)をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依拠してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の業績の予測若しくは予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。

本資料に記載されている当社グループ以外の企業（SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。）に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

本資料には、Arm Limitedに関する記述が含まれています。これらの記述は、SBGの株主への情報提供のみを目的としたものであり、Arm Limitedが発行するあらゆる有価証券の販売又は購入の勧誘を目的としたものではありませんし、そのように解釈されるべきではありません。

## 商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

## 重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR（米国預託証券）に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR（以下「ADR」）の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBGは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設立又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引所法（以下「証券取引所法」）で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引所法ルール12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やZホールディングス株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券に同様に適用されます。

## 本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はSB Global Advisers Limited（以下「SBGA」）、SB Investment Advisers (UK) Limited（以下「SBIA」）及びそれらの関係会社を含むSBGの子会社（以下併せて「SBファンド運用会社」）により運用されるいずれかのファンド（文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」）のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、他のファンド同様、SBIAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド1」）、SBGAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund II-2 L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド2」）及びSBGAとその関係会社によって運用されているSBLA Latin America Fund LLC（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」）を含みます。

SBファンド（ビジョン・ファンド1及びビジョン・ファンド2並びにラテンアメリカ・ファンドを含む）、SBファンド運用会社、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるとかかわらずこれを表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因（例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。）に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつかの要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びベンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はSBGが、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBGA及びSBIAは、ビジョン・ファンド1、ビジョン・ファンド2及びラテンアメリカファンドの運用に関して、相互にSBGからそれぞれ別個独立した業務プロセスを採っています。SBGA又はSBIAによって運用されるSBファンドは、それぞれSBGA単独又はSBIA単独で運用されています。

## 本資料における為替換算レート

(円)

期中平均レート	FY21/Q1	FY21/Q2	FY21/Q3	FY21/Q4	FY22/Q1	FY22/Q2	FY22/Q3	FY22/Q4
1米ドル	110.00	110.47	113.60	117.10	129.04	138.68	141.16	133.26
期末レート	2021/6月末	2021/9月末	2021/12月末	2022/3月末	2022/6月末	2022/9月末	2022/12月末	2023/3月末
1米ドル				122.39				133.53

## 略称について

本資料では、以下の略称は以下の意味を指す。なお、企業名から「株式会社」や「(株)」を省略している箇所がある。

略称	意味 (傘下子会社がある場合、それを含む)
SBG	ソフトバンクグループ(株) (単体)
当社	ソフトバンクグループ(株)および子会社
SBKK	ソフトバンク(株)
SB Northstar	SB Northstar LP
SVF1 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド1	SoftBank Vision Fund L.P. および代替の投資ビークル
SVF2 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド2	SoftBank Vision Fund II-2 L.P.
LatAmファンド または ラテンアメリカ・ファンド	SBLA Latin America Fund LLC
SVF	SVF1、SVF2およびLatAmファンド
SBIA	SB Investment Advisers (UK) Limited
SBGA	SB Global Advisers Limited
SBGC	SoftBank Group Capital Limited
Tモバイル	スプリントと合併後のT-Mobile US, Inc.
ドイツテレコム	Deutsche Telekom AG
アーム	Arm Limited
アリババ	Alibaba Group Holding Limited

## その他

本資料において端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合がある。

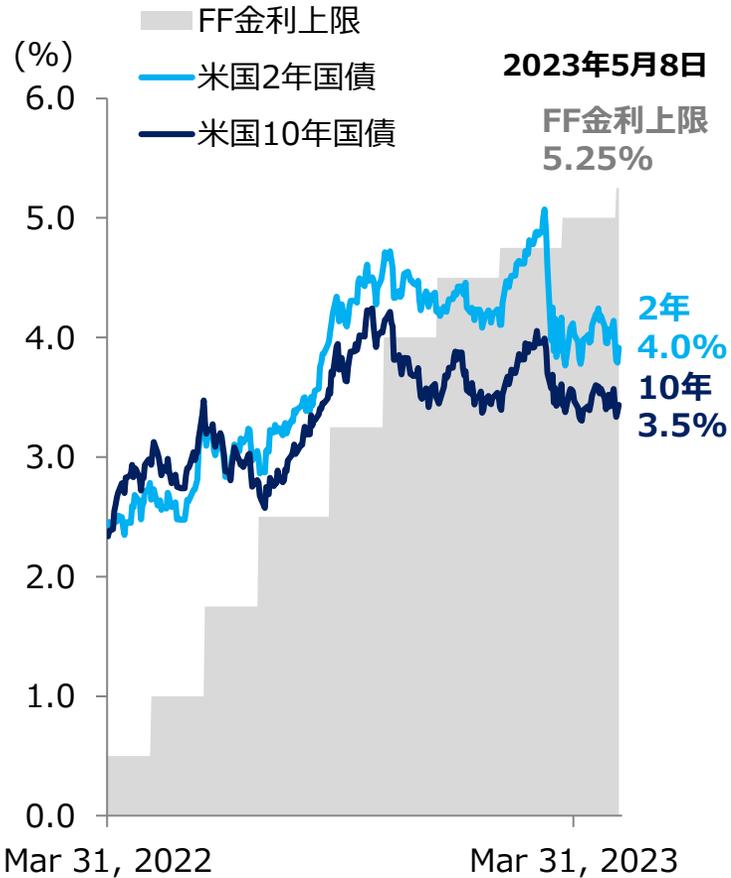
# 財務編

“SBG単体”の財務指標は、別段記載のない限り、連結グループから独立採算子会社を除いた数値を示します。独立採算子会社は、SBKK（ZホールディングスおよびPayPayをはじめとする子会社を含む）、SVF1、SVF2、LatAmファンド、アーム等です。

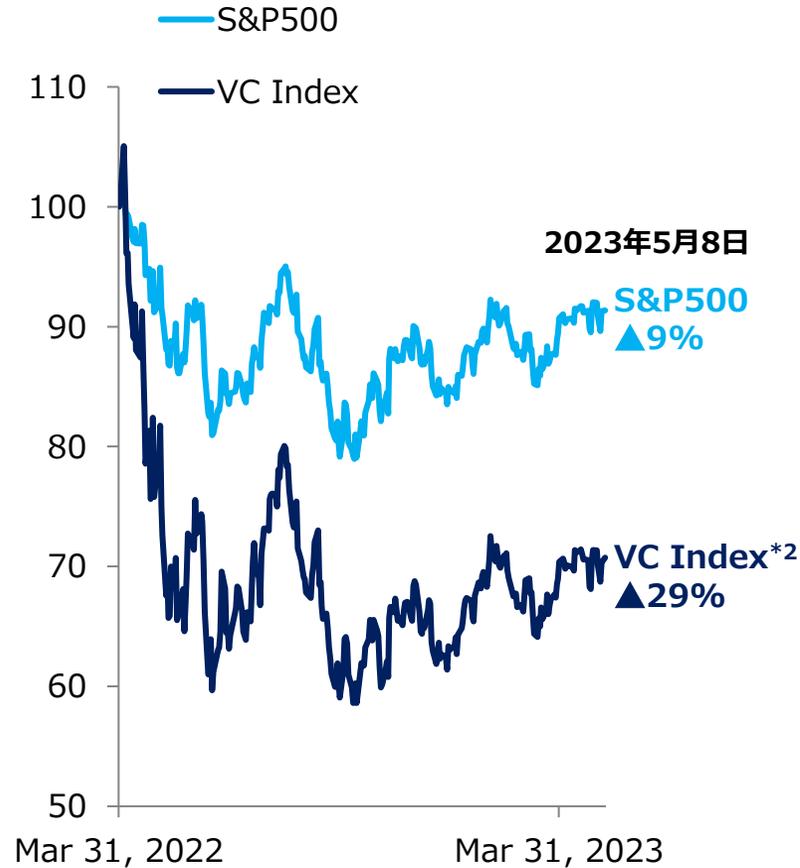
# 環境認識について

## 2022年度は金利上昇により株式市場は脆弱かつ不安定に推移 足元は安定性を取り戻しつつある状況

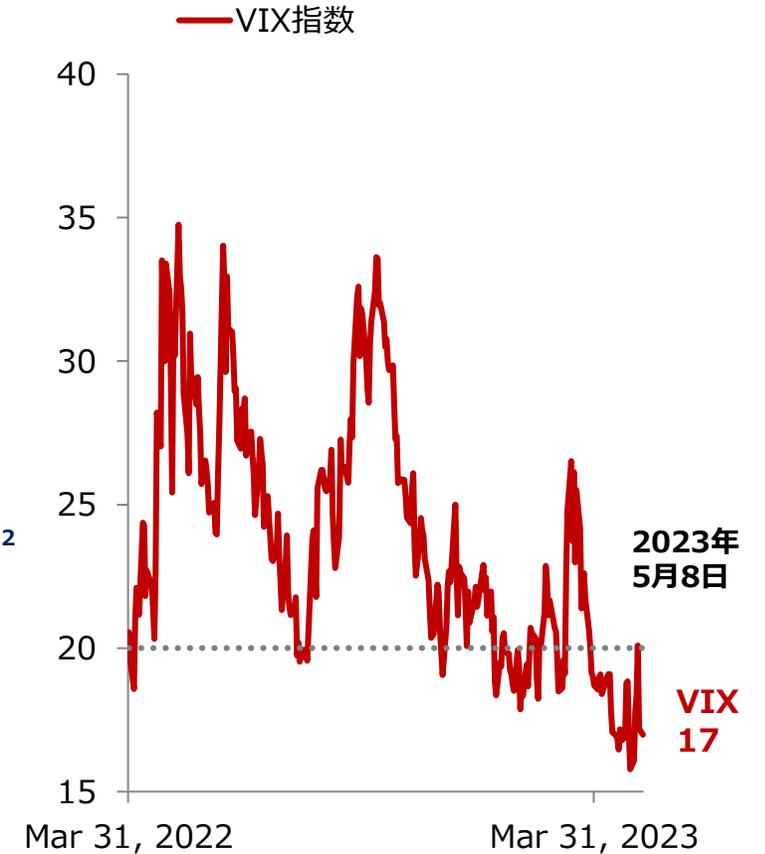
### 米国金利



### 米国株価\*1



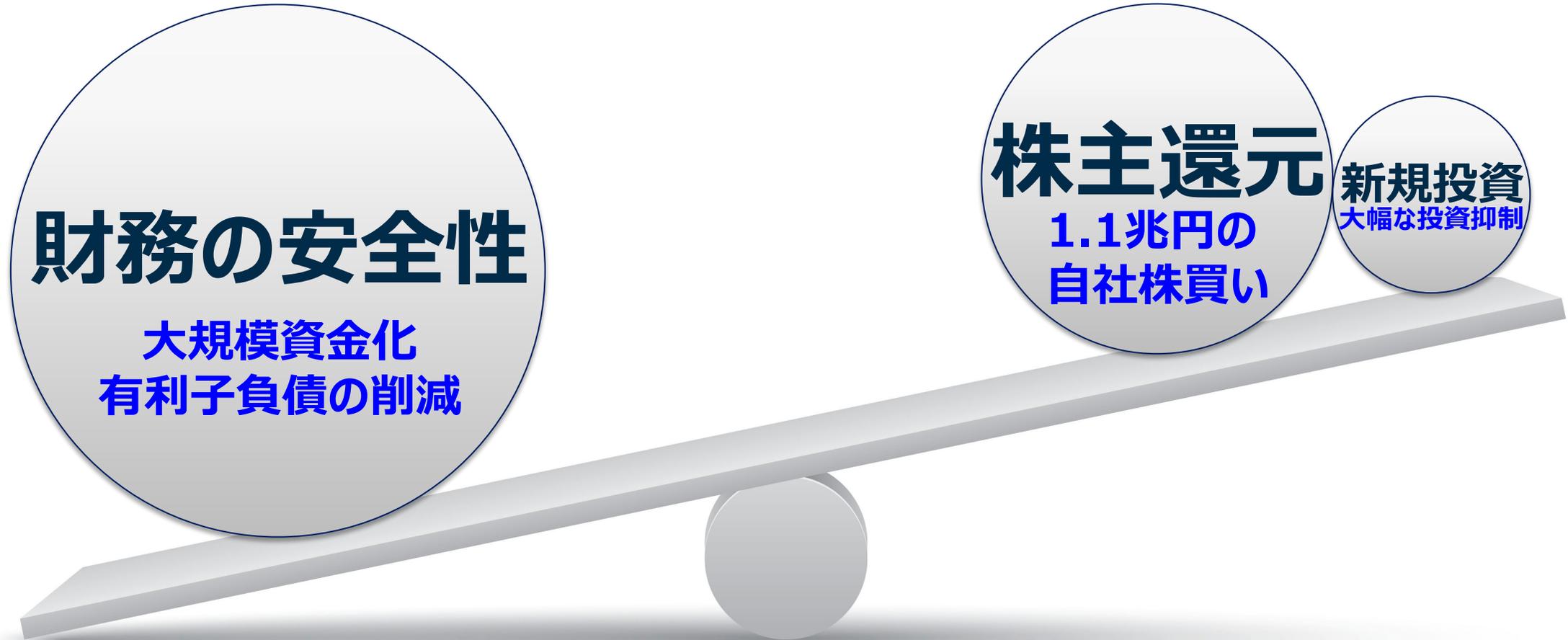
### 株価ボラティリティ



(注) Bloombergを基に当社作成  
\*1 2022年3月末を100として指数化  
\*2 Thomson Reuters Venture Capital Index

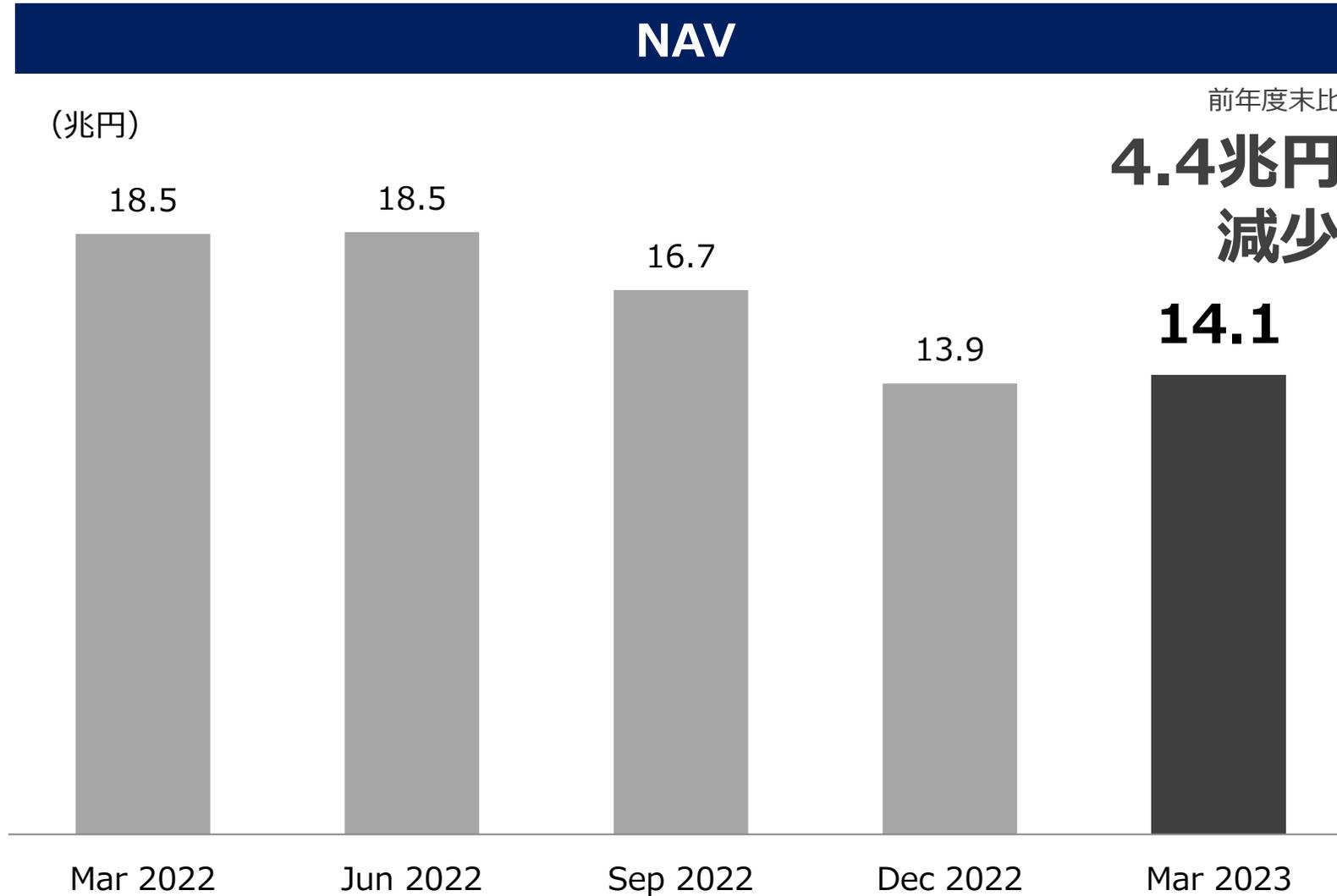
# 「守り」を重視した財務運営

## 株主還元を継続しながらも財務の安全性を強化



# NAVの推移

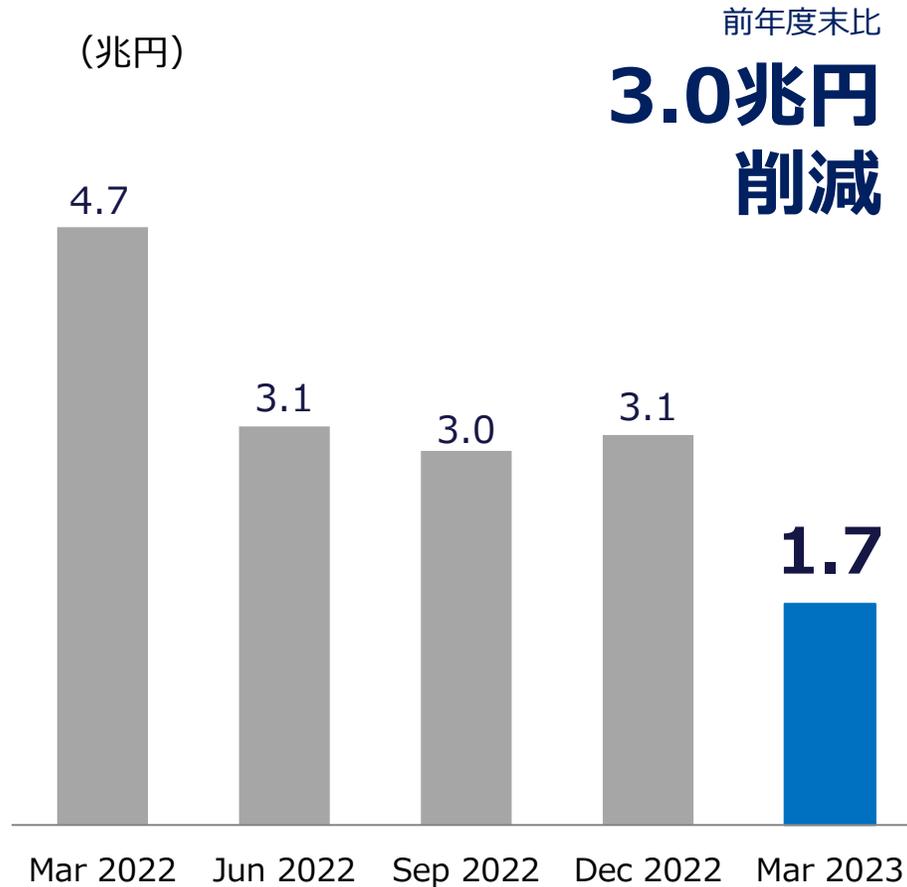
厳しい市場環境によりNAVは減少、直近は微増



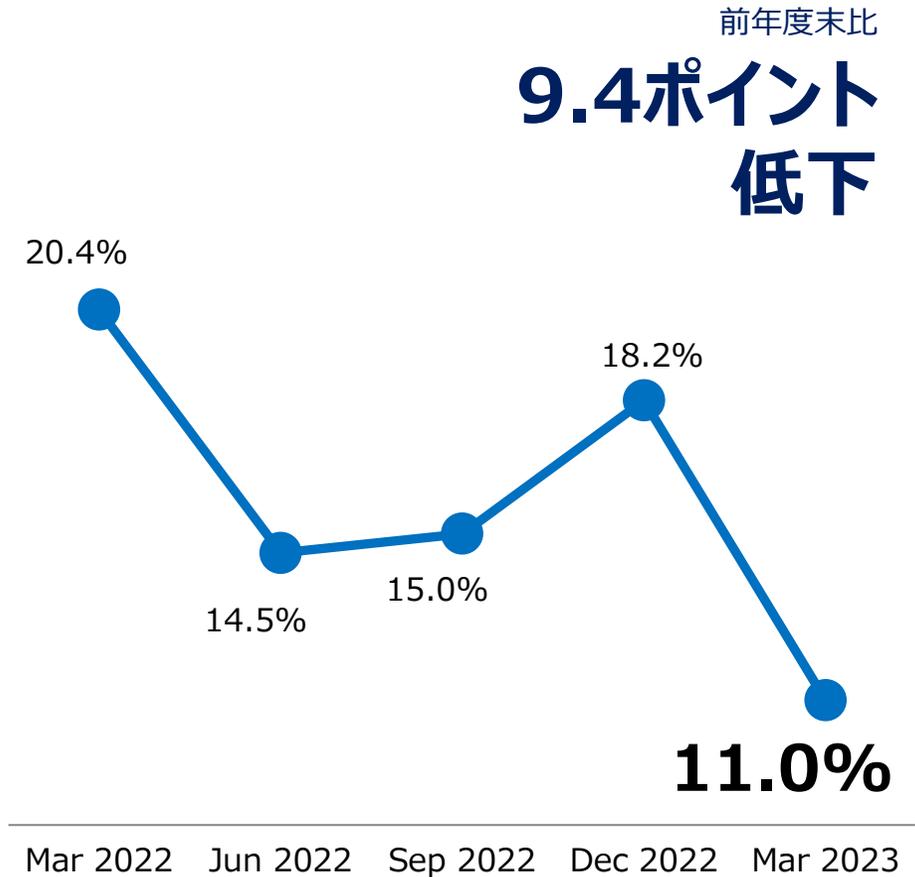
# 「守り」を重視した財務運営

## 純有利子負債の削減によりLTVは大幅に低下 (改善)

### 純有利子負債\*1



### LTV



\*1 調整後SBG単体純有利子負債

# FY2022総括

## 大規模な資金化と投資の大幅な抑制により財務の安全性を強化

<b>NAV・LTV</b>	<p><b>NAV 14.1兆円</b>（前年度末比 -4.4兆円）</p> <p><b>LTV 11.0%</b>（前年度末比 -9.4ポイント）</p> <p><b>純有利子負債 1.7兆円</b>（前年度末比 -3.0兆円）</p> <p><b>手元流動性 5.1兆円<sup>*1</sup></b>（前年度末比 +2.3兆円）</p>
<b>財務活動</b>	<p><b>大規模な資金化と負債削減を実行</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- アセットの資金化 \$39.0B <ul style="list-style-type: none"> <li>• うちアリババ株式を活用したアセットバック・ファイナンス \$35.5B</li> </ul> </li> <li>- マージンローンの返済 1兆78億円</li> <li>- 社債の償還・買入れ 4,420億円</li> <li>- 銀行ローンの返済 9,159億円</li> </ul>
<b>投資活動</b>	<p><b>投資額を大幅抑制</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 年度投資額 \$3.1B（前年度 \$44.3B）</li> </ul>
<b>自社株 買い</b>	<p><b>1.1兆円の自社株買い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 2021年11月決議（取得枠:1兆円）および2022年8月決議（取得枠:4,000億円）の全額取得完了</li> </ul>

\*1 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + コミットライン未使用枠。2023年3月末のコミットライン未使用枠は6,498億円相当。SBG単体ベース（SB Northstarを除く）

# FY2022Q4の主な財務活動

## 保守的な財務運営を継続。ハイブリッド社債のリファイナンス完了

### 1-3月（FY2022Q4）実行<sup>\*1</sup>

#### アセットを活用した 資金調達等

アリババ株式のフォワード取引（1-3月）	+\$11.0B	(+1兆4,712億円相当)
SBKKマージンローンのリファイナンス（2月）	\$3.8B相当	(5,000億円)

### 4-5月（FY2023Q1）実行<sup>\*1</sup>

#### 銀行借入

円建てハイブリッドローンの借り入れ（5月）	+\$0.4B相当	(+531億円)
-----------------------	-----------	----------

#### 社債

国内ハイブリッド債の発行（4月）	+\$1.7B相当	(+2,220億円)
シニア社債償還（4月）	-\$0.9B相当	(-1,324億円)

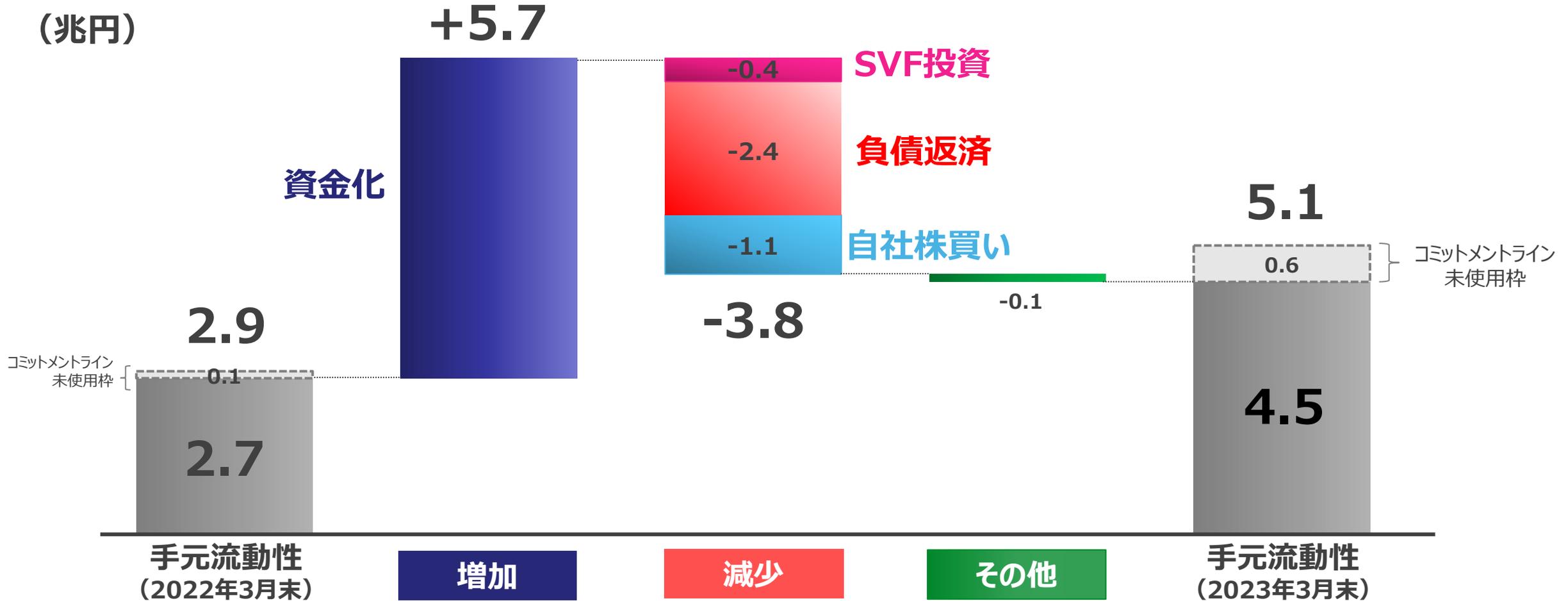
#### アセットを活用した 資金調達

アリババ株式のフォワード取引（4-5月）	+\$4.1B	(+5,463億円相当)
----------------------	---------	--------------

\*1 FY2022Q4の平均レート等により円換算

# 財務活動の実績 (FY2022)

## アセットバック・ファイナンス等による調達資金を負債削減および株主還元にも有効活用



各四半期の平均レート等により円換算

手元流動性：現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース（SB Northstarを除く）

資金化：SVF1からの分配（+\$1.8B）、SVF2からの分配（+\$0.5B）、LatAmファンドからの分配（+\$0.1B）、SB Northstarからの資金還流（+\$0.9B）、アリババ株式を活用した株式先渡売買契約（+\$35.5B）、

アーム株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる調達（+\$0.5B）、Tモバイル株式売却（+\$2.4B）、SoFi Technologies, Inc. 株式売却（+\$0.7B）

SVF投資：SVF1&2およびLatAmファンドへの拠出額合計（-\$3.1B）

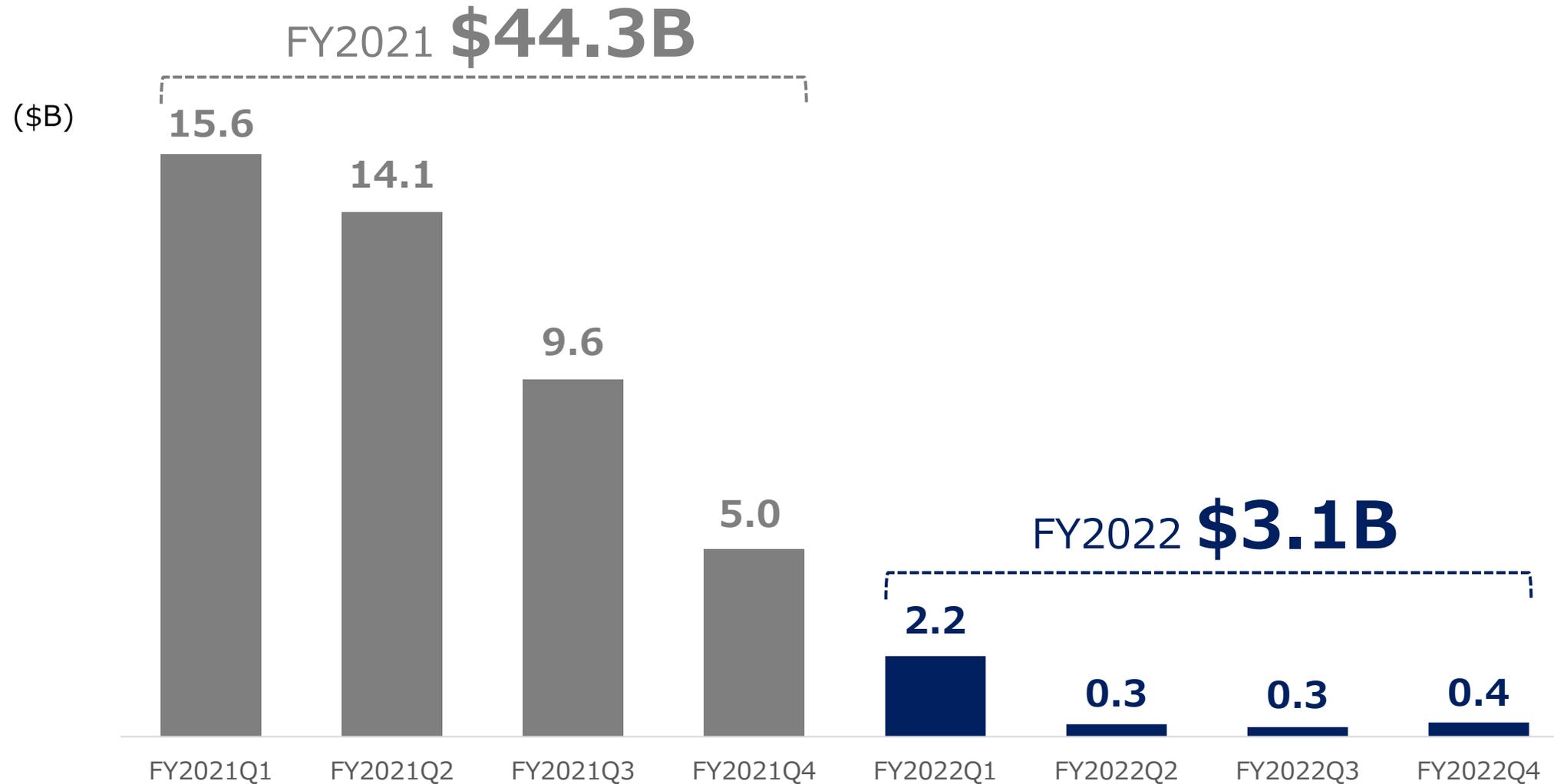
自社株買い：2021年11月8日および2022年8月8日取締役会決議に基づく自己株式の取得額（-¥1.06T）

負債返済：SBGコミットメントライン返済（-\$4.5B）、SBGシニアローン返済（-¥325.2B）、SBG国内普通社債償還（-¥337.0B）、SBG外貨建て普通社債の買入れ（-\$2.1B）、

SBG米ドル建永久ハイブリッド社債の買入れ（-\$0.75B）、アリババ株式を活用したマージンローン返済（-\$6.0B）、Tモバイル株式を活用したマージンローン返済（-\$2.1B）。負債返済額は、SBGが期中に発行した国内普通社債（¥385.0B）をネットして記載。

# 投資額の推移 (SVF1+SVF2)

## 投資金額を大幅に抑制



(注) 投資額：新規および既存投資先への追加投資の合計。株式交換を含む。

# 負債の削減 (FY2022)



(注) 各期の期中平均レートにて算出

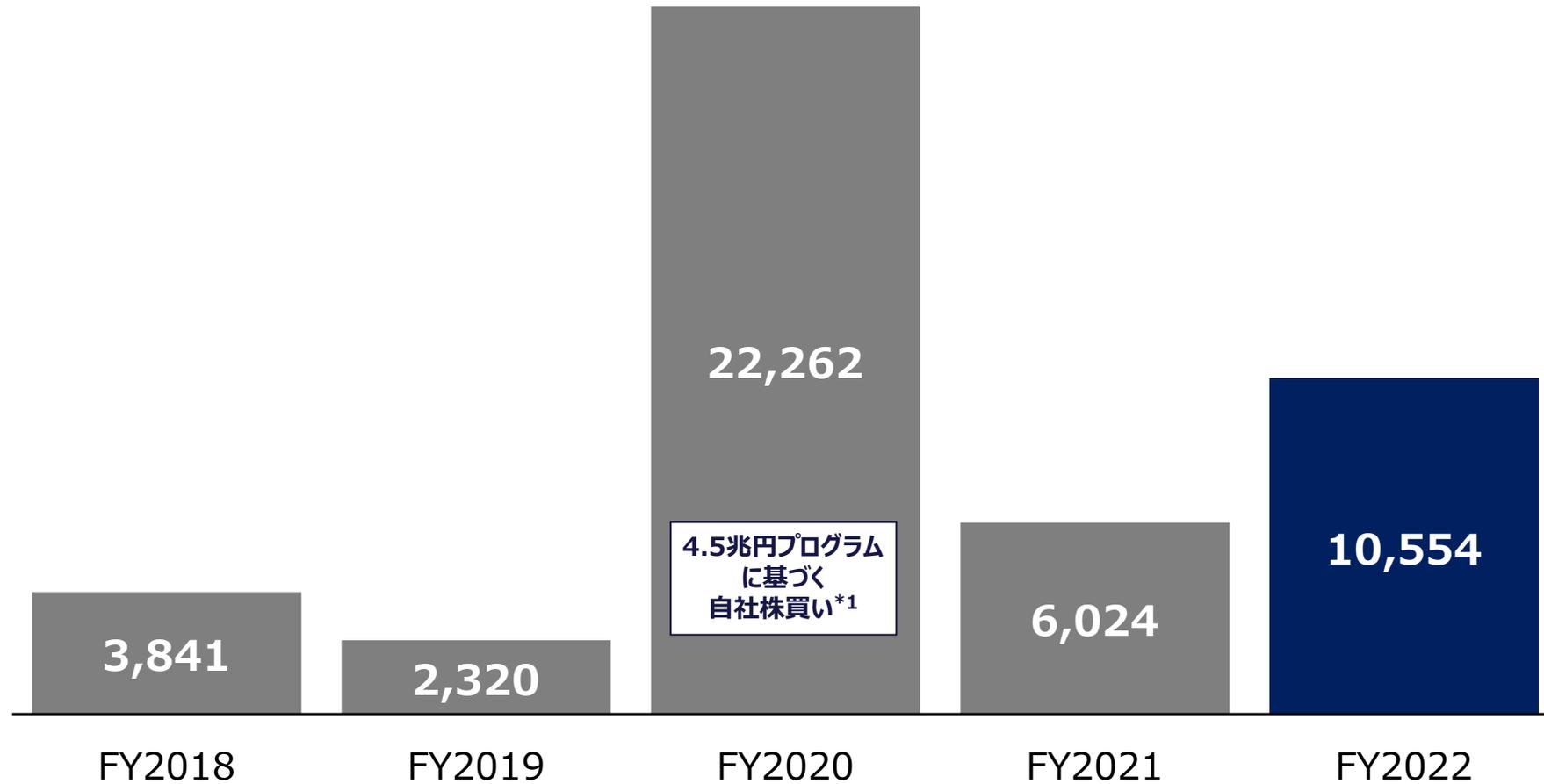
\*1 額面金額、FY2022Q3に発行した第58回無担保社債 (3,850億円) を控除後の総額

\*2 FY2022Q1に実施したアーム株式を活用したアセットバックファイナンスの増額 (\$0.5B) を控除後の総額

# 自己株式取得額の推移

## 直近5年間で累計約4.5兆円の自己株式を取得

(億円)

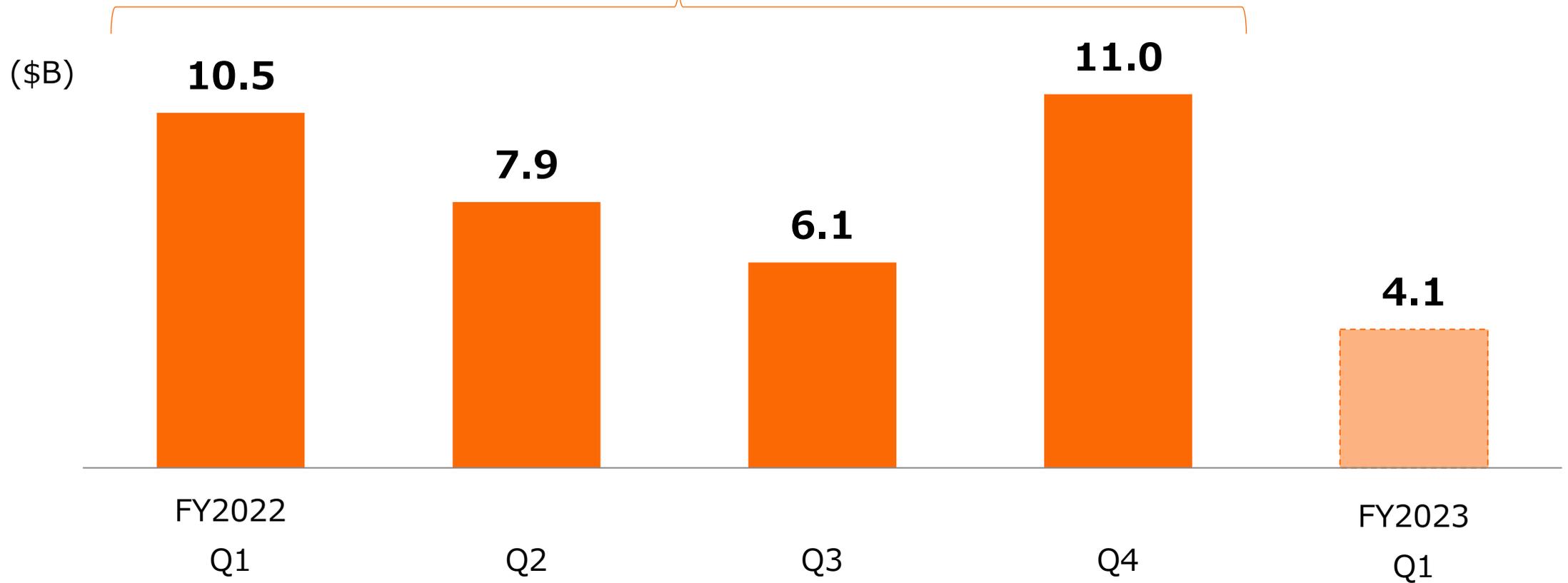


\*1 4.5兆円プログラムに基づく自己株式の取得はFY2020に1兆7,422億円、FY2021に2,578億円

# アリババ株式の資金化

## FY2022は\$35.5Bの大規模な資金化を実施

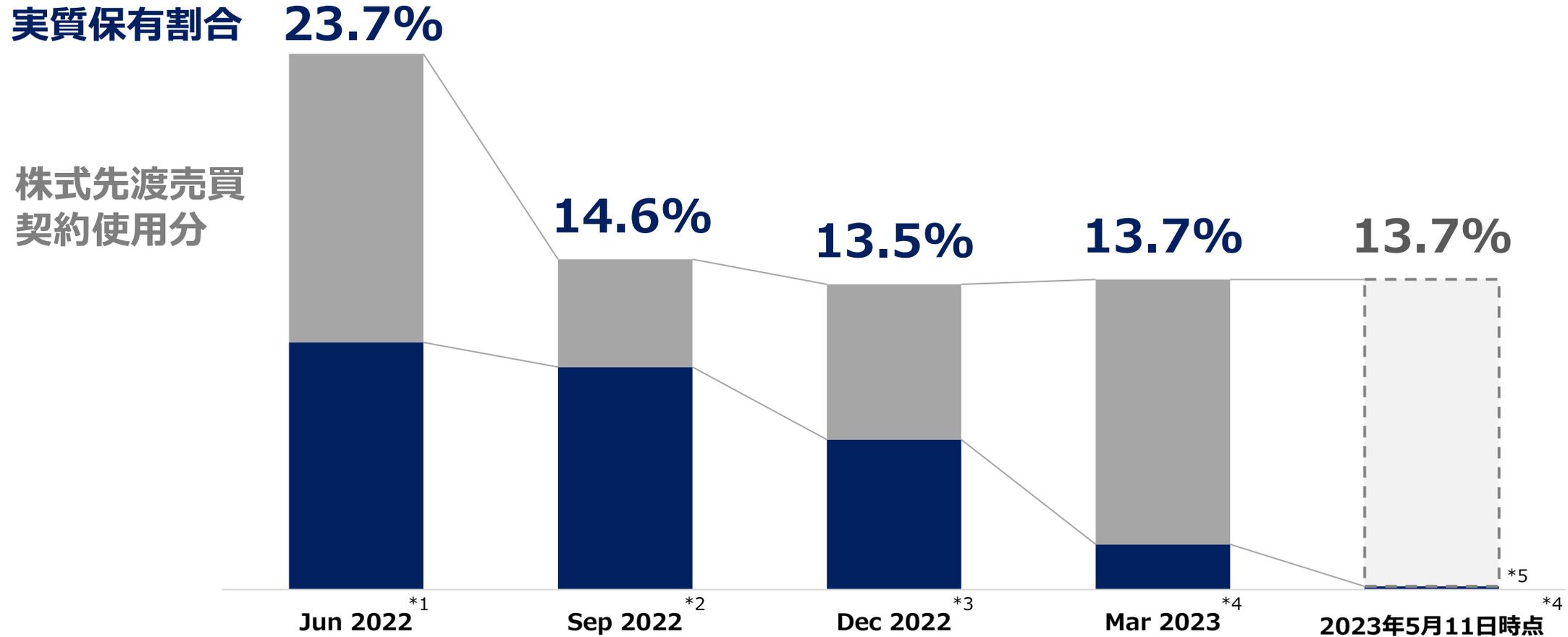
年度合計 **\$35.5B** 資金化



2023年5月11日時点

# アリババ株式の実質保有割合推移

## 株式先渡し売買契約により資金化がほぼ完了



\*1 アリババのForm 20-Fに記載された2022年3月31日の発行済普通株式総数（自己株式を除く）21,357,323,112株に基づき算出

\*2 同社のForm 20-Fに記載された2022年7月15日の発行済普通株式総数（自己株式を除く）21,185,107,544株に基づき算出

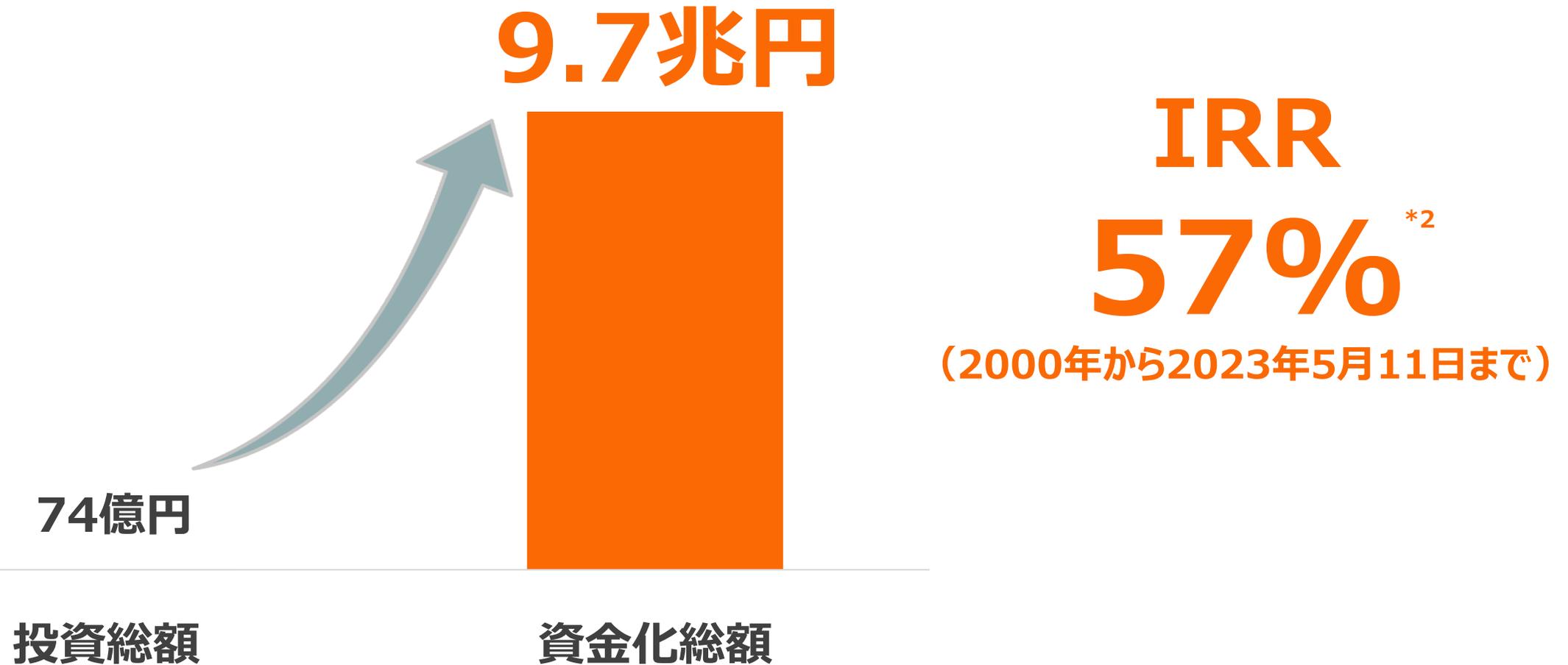
\*3 2022年9月末の同社発行済普通株式総数（自己株式を除く）に基づき算出

\*4 2022年12月末の同社発行済普通株式総数（自己株式を除く）20,680,409,344株に基づき算出

\*5 2022年12月末の同社発行済普通株式総数（自己株式を除く）に占める資金化未済のアリババ株式の割合は0.1%

# アリババ株式を活用した資金調達

約10兆円におよぶ大規模な資金調達を完了\*1



(注) アリババ株式の投資総額及び資金化総額は、各取引日における為替レートにより円換算。

\*1 資金化総額は、デリバティブ取引に係るオプションプレミアムや現金決済時の支出等、資金化に係るコスト等を控除した金額。また、2023年5月11日時点で資金化が完了していない金額を含まない。

\*2 IRRは、2000年から2023年5月11日までの投資及び資金化実績を基に算出。税金考慮前。

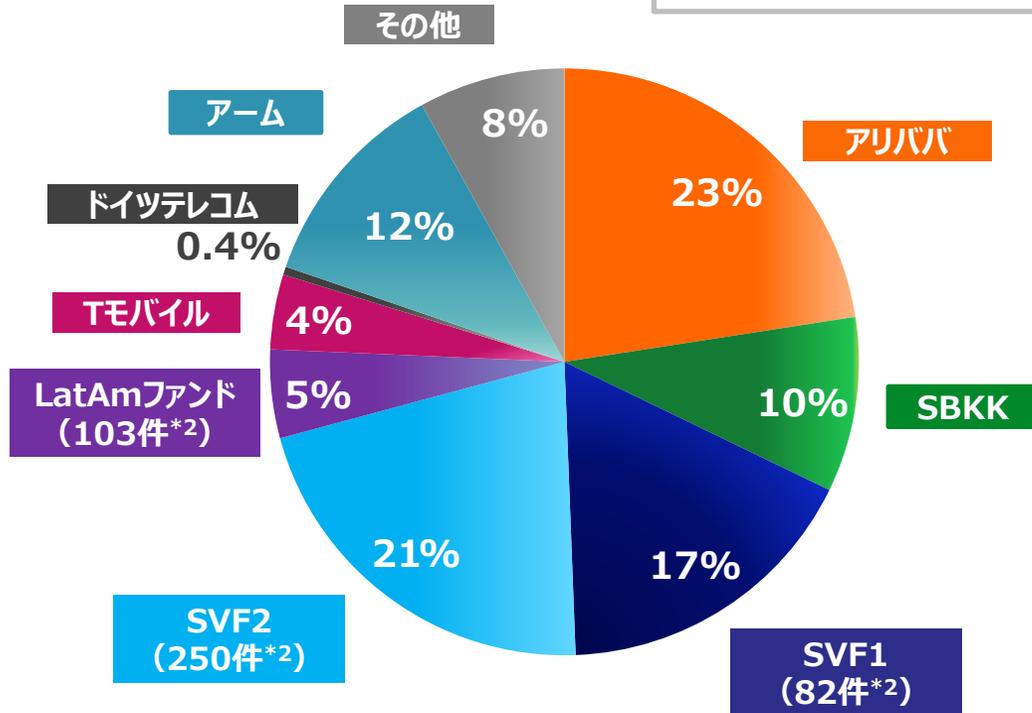
# 保有株式価値：ポートフォリオの分散

## ポートフォリオの分散化を継続

アセットバック・ファイナンス除く

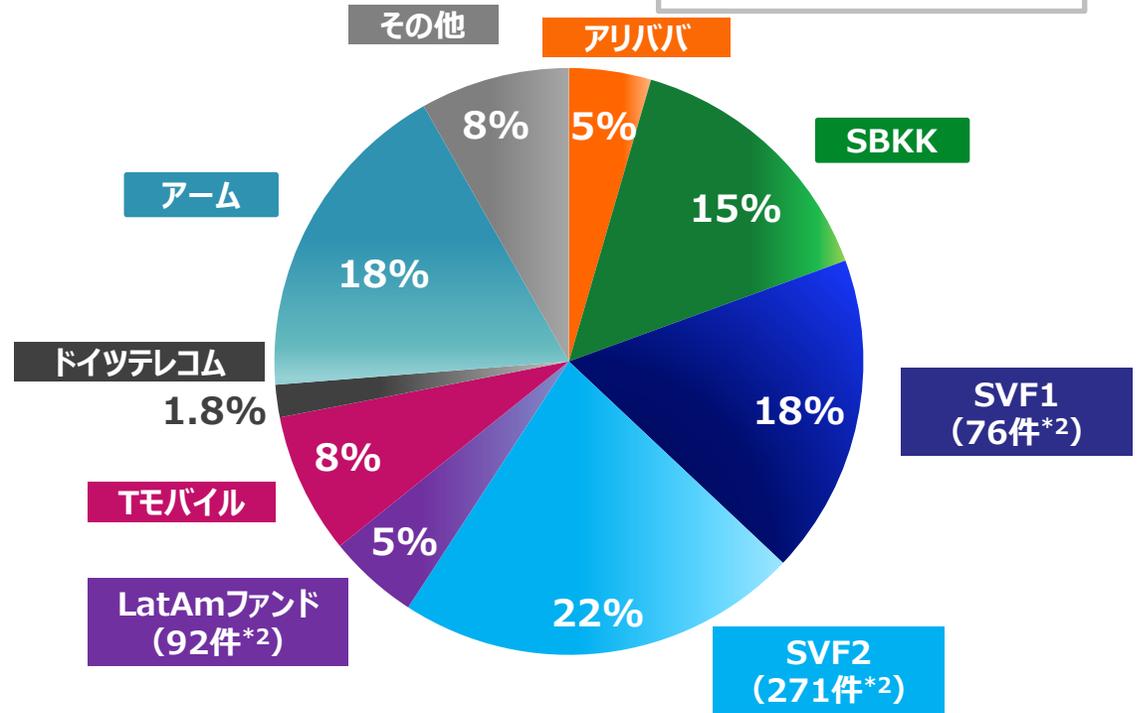
2022年3月末

上場株式の割合\*1  
(アセットバック・ファイナンス控除後)  
52%



2023年3月末

上場株式の割合\*1  
(アセットバック・ファイナンス控除後)  
41%



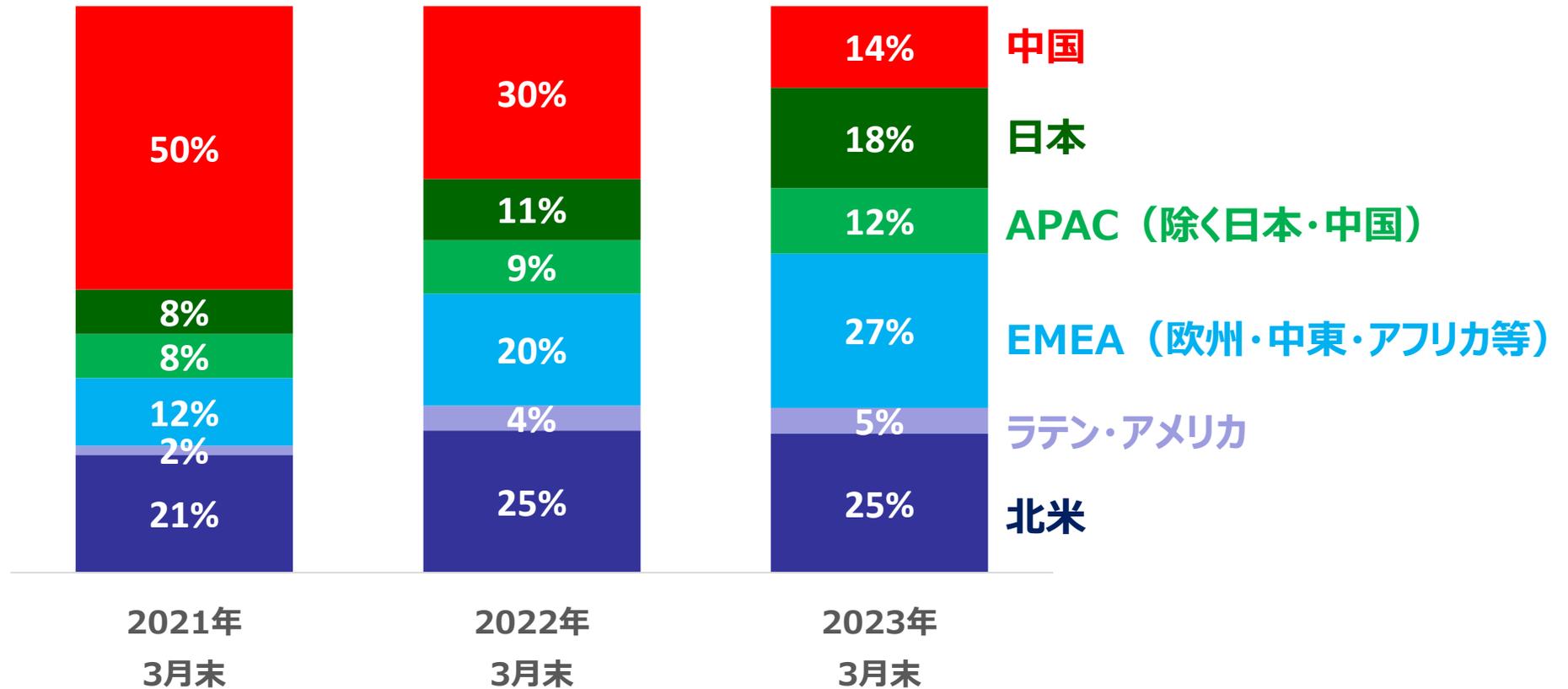
(注) 保有株式価値の2023年3月末時点の詳細は、Appendix「2023年3月末：保有株式価値（算出方法）」、2022年3月末時点の詳細は、2022年3月期決算投資家向け説明会プレゼンテーション資料 財務編Appendix「保有株式価値（算出方法）」を参照  
 \*1 上場株式の割合：アリババ、SVF1・SVF2・LatAmファンドが保有する上場株式、SBKK、Tモバイル、ドイツテレコム、およびその他のうちの上場株式を含む（ただし、SVF1、SVF2およびLatAmファンドはSBGの持分のみを含む）。(i) 2023年3月末時点のSBGの保有株式価値のうち上場株式価値の占める割合（アセットバック・ファイナンス控除後）と、(ii)アームの上場準備状況を踏まえた、2023年3月末時点のSBGのアーム保有株式価値（アセットバック・ファイナンス控除後）を合計すると59%となる。アームは既に上場準備の開始を発表しているが、上場の時期、上場後のアームの価値およびSBGのアーム保有株式価値については未定であり、これらについて何らの保証または示唆を与えるものではない。  
 \*2 SVF1、SVF2およびLatAmファンドが保有する銘柄数：普通株式および優先株式を保有する投資先2社については、普通株式への投資と優先株式への投資をそれぞれ1件として投資件数に含めている。2019年10月の当社とWeWorkの合意に基づきSVF2が買い受けた同社担保付シニア債券は1件として投資件数に含めている。

# ポートフォリオの分散

## 中国株式の割合が大幅に減少したことで、保有資産の地域分散が進む

アセットバック・ファイナンス除く

### 保有株式の地域別割合

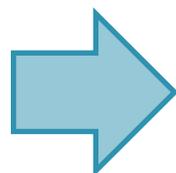


(注) 各投資先の本社所在地に基づき地域を分類  
 中国：アリババ、SVF1およびSVF2からの中国投資、その他の中国投資の合計  
 日本：ソフトバンク、SVF1およびSVF2からの日本投資、その他の日本投資の合計  
 APAC (除く日本・中国)：SVF1およびSVF2からの日本・中国を除くAPAC投資の合計  
 EMEA：アーム、ドイツテレコム、SVF1およびSVF2からのEMEA投資、その他のEMEA投資等の合計  
 ラテン・アメリカ：LatAmファンド、その他のラテン・アメリカ投資の合計  
 北米：Tモバイル、SVF1およびSVF2からの米国投資、その他の米国投資の合計

アームは米国SECにForm F-1の  
登録届出書ドラフトを非公開で提出

本新規株式公開の規模及び価格帯は未決定

本新規株式公開は、市場及びその他の状況、  
並びにSECによる審査プロセスの完了が条件



上場後はSBGポートフォリオの質的向上  
(価値の透明性、流動性)

# ポートフォリオの流動性

## 上場株式の資金化後も、上場株式 + 手元流動性の割合は高水準を維持

アセットバック・ファイナンス除く

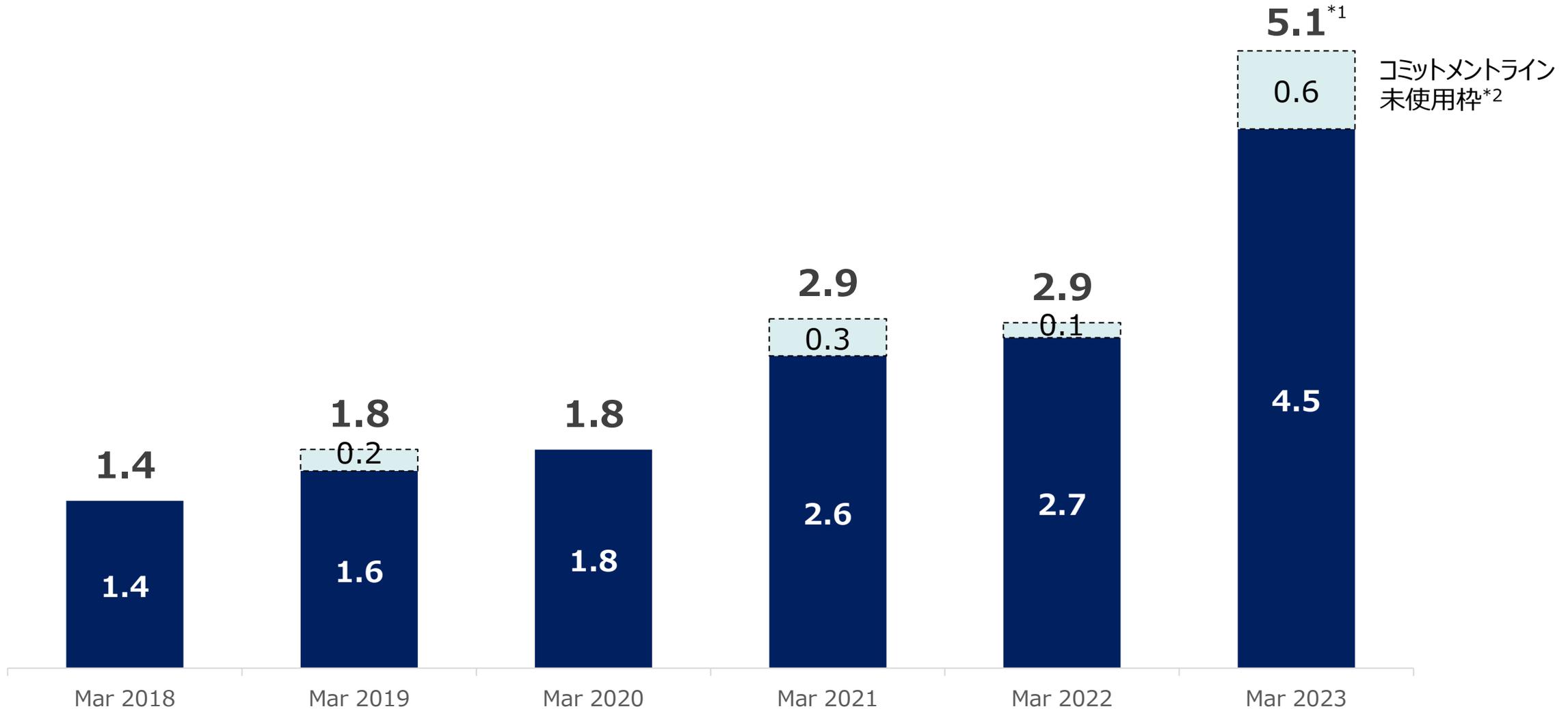


\*1 保有資産価値（上場株式及び非上場株式） + 手元流動性（コミットメントライン未使用枠を含まない）に対する割合

# SBG単体 手元流動性の推移

## 過去5年間で最大の手元流動性を確保

(兆円)

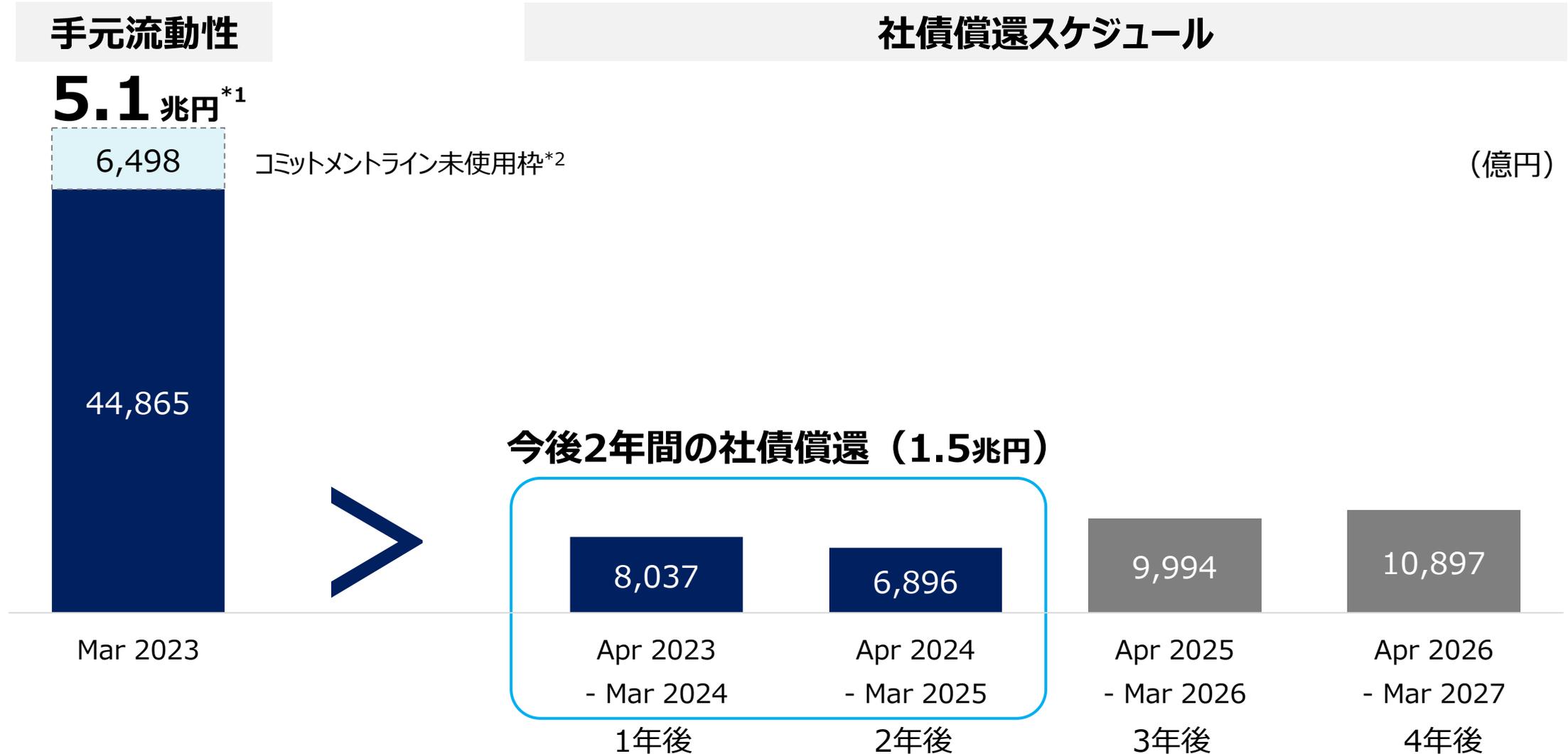


\*1 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース（SB Northstarを除く）

\*2 2023年3月末時点のコミットメントライン総額6,498億円相当は全額未使用

# 手元流動性

## 社債償還2年分を大幅に超える潤沢な手元流動性を維持



\*1 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース (SB Northstarを除く)

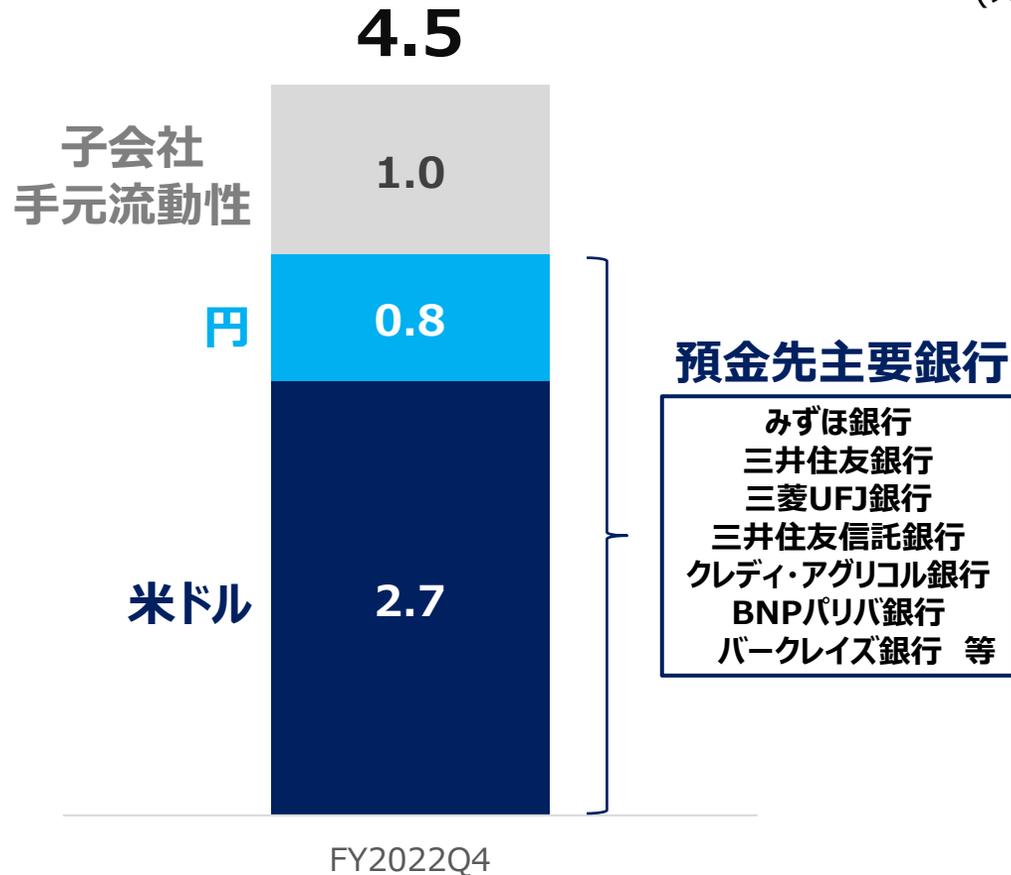
\*2 2023年3月末時点のコミットメントライン総額6,498億円相当は全額未使用

# 現預金の状況

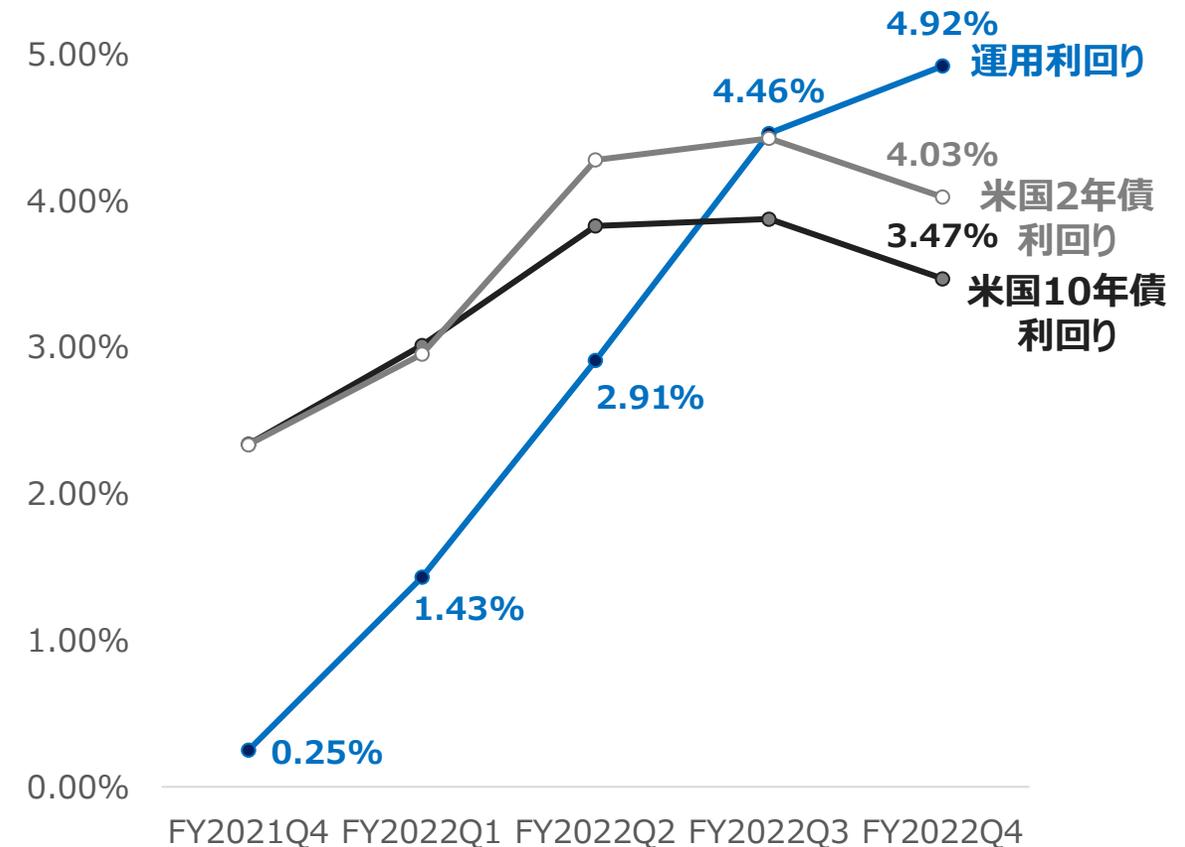
余剰資金は複数の信用力の高い金融機関に分散して主に米ドル預金で運用

## 手元流動性の内訳\*1

(兆円)



## 当社米ドル預金等の平均金利\*2



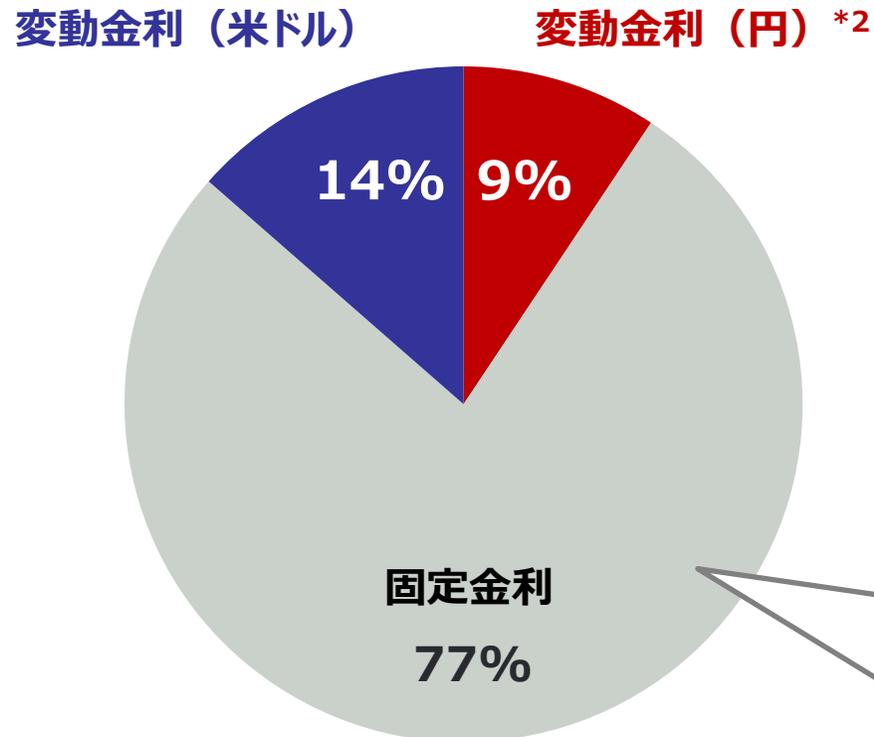
\*1 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資(資産運用子会社からの投資等)。SBG単体ベース

\*2 四半期末平均

# デットの固定・変動比率（金利上昇による財務リスクなし）

## 金利変動に伴う利払い負担への影響は軽微

### SBG単体有利子負債<sup>\*1</sup>における 固定・変動比率



- 変動金利のデットは全体の23%のみ
- ドルは受取利息の上昇で相殺
- 円金利1%上昇の影響は75億円に留まる<sup>\*3</sup>

- 低金利環境で固定化
- 今後の積極的な調達予定なし
- 金利上昇をとらえてバイバックを実施  
(FY22 償還差額491億円<sup>\*4</sup>)

\*1 2023年3月末時点のSBGおよび資金調達を行う子会社における有利子負債残高（含むマージンローン、除く株式先渡契約）

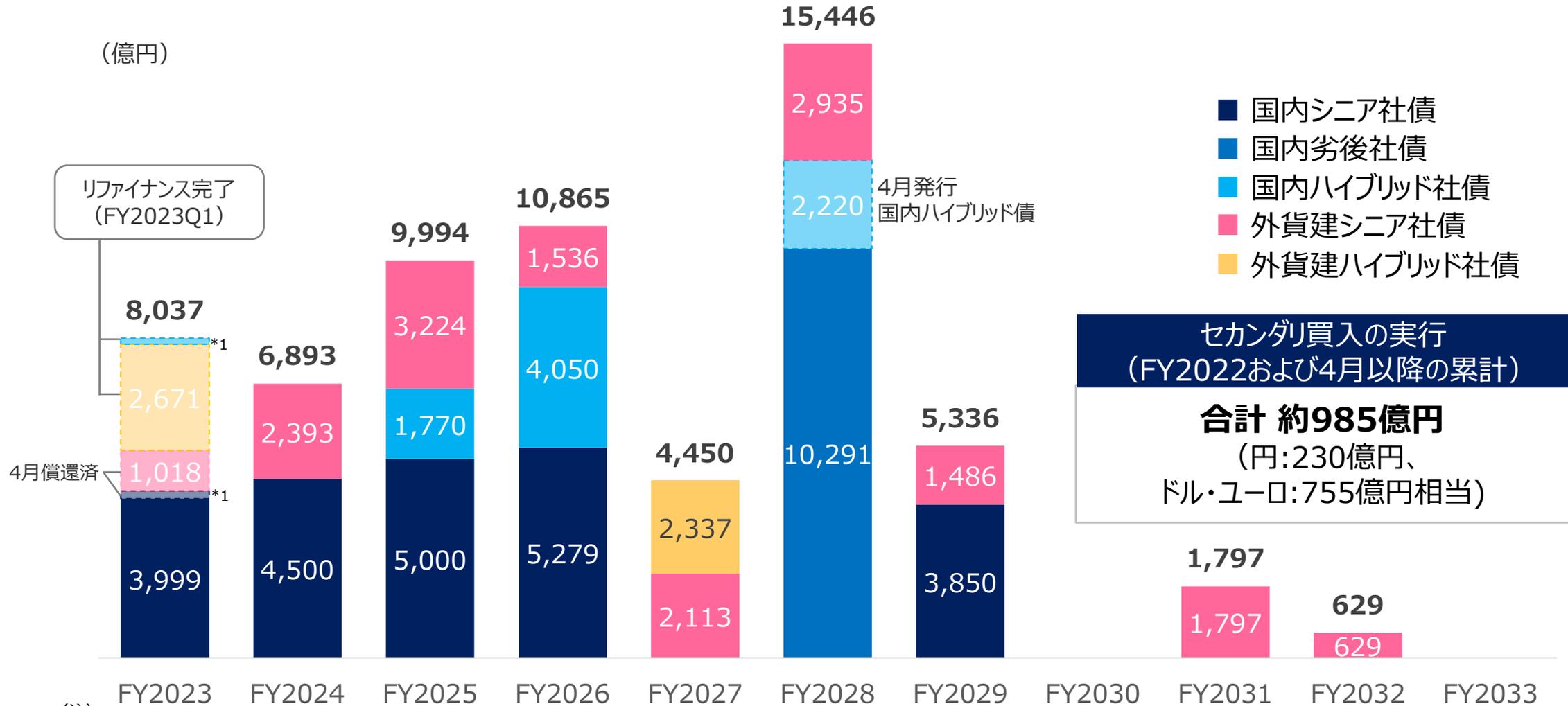
\*2 含むCP残高

\*3 円変動分にかかる12か月の利払増額（推計）

\*4 その他の損益に含まれる社債償還益（441億円）+ドル建てハイブリッド社債の発行額と買入額の差額を2022年9月30日時点の為替レートで換算

# 社債償還スケジュール

## 手元流動性および市場環境を考慮した起債運営を実施

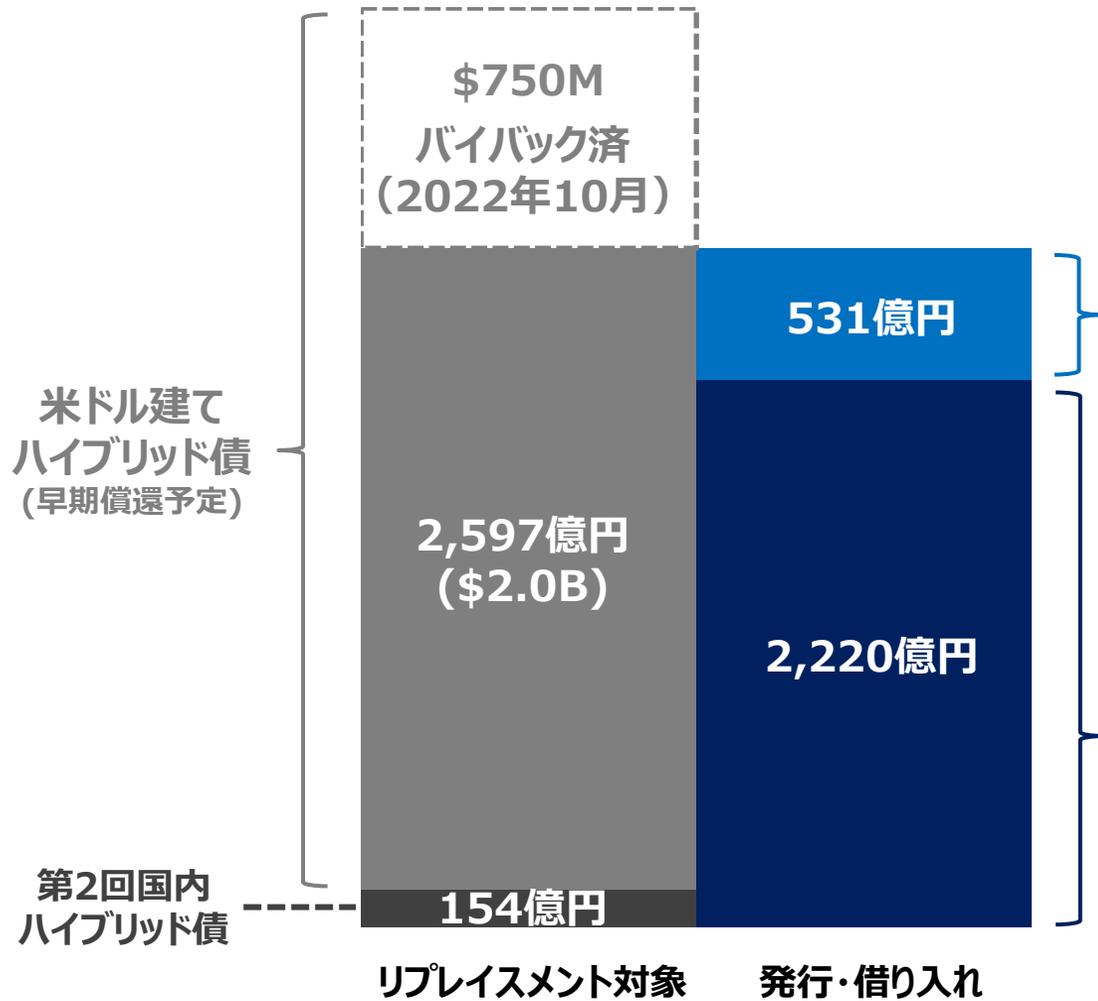


(注)

- 2023年3月末時点発行残高。4月に発行した国内ハイブリッド債、4月以降に実施した国内債および外債の買入れを反映済み。
- ハイブリッド社債は、すべて初回コール日に早期償還するケース
- 外貨建社債は、スワップを締結しているものはスワップレートにて換算、それ以外は1ドル=133.53円、1ユーロ=145.72円にて換算
- 2023年4月までにバイバックにより取得した社債を除く。
- \*1 国内シニア社債 (195億円) は 2023年4月20日に満期償還済、国内ハイブリッド社債 (154億円) はリファイナンス完了

# ハイブリッド債のリプレイスメント

## 2023年7月の米ドル建てハイブリッド債の早期償還に向けたリファイナンスを完了



第2回 ハイブリッドローン	
参加行	みずほ銀行、三井住友銀行、三菱UFJ銀行、三井住友信託銀行、SBI新生銀行 (計5行)
借入実行日	2023年5月8日
年限	35年 (期限前弁済可能日：2028年5月)
資本性	50% (S&P/JCR)

第6回 国内ハイブリッド債	
投資家	主に個人投資家 (機関投資家含む)
当初利率*1	当初5年：4.750%
発行日	2023年4月28日
年限	35年 (初回任意償還日：2028年4月28日)
資本性	50% (S&P/JCR)

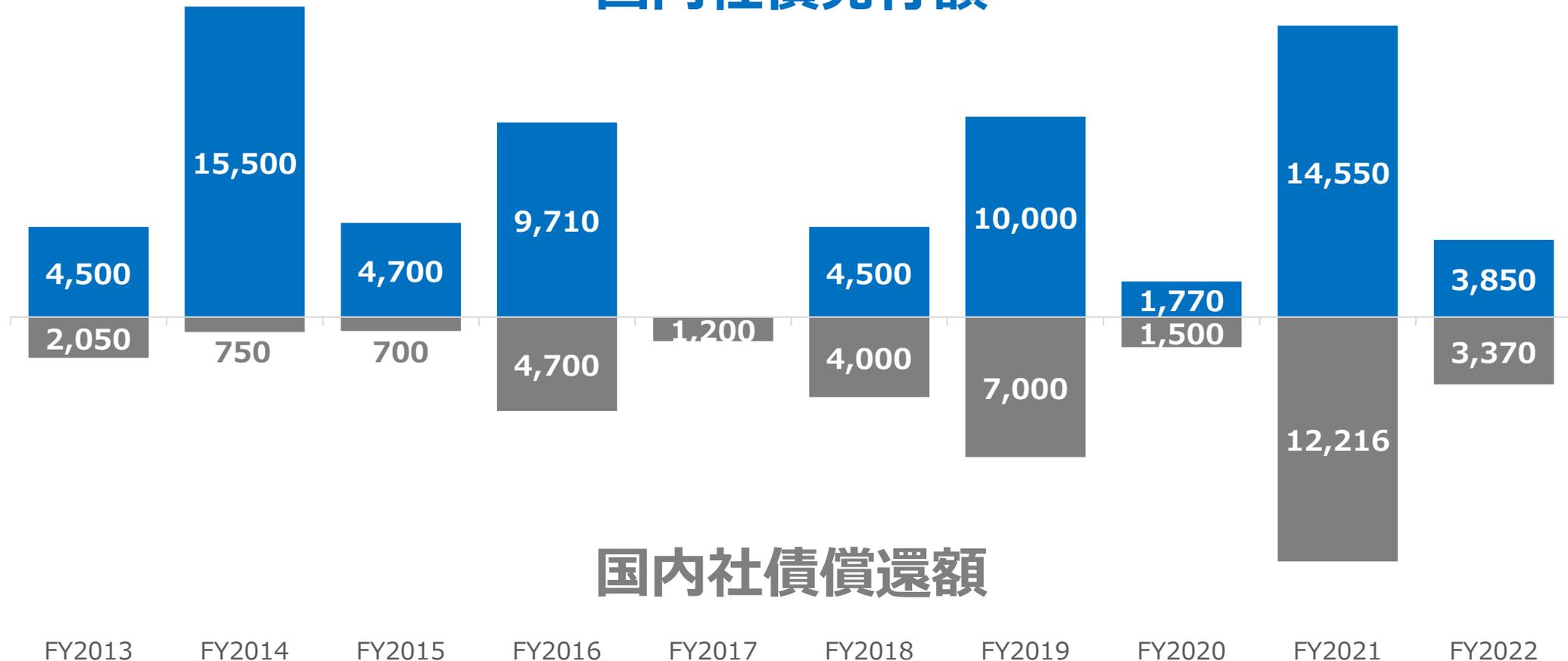
\*1 5年後以降は変動：1年日本国債金利 + 当初スプレッド (4.590%) + ステップアップ。ステップアップ：5年後に25bps、20年後に5bps (累計30bps)、25年後に70bps (累計100bps)

# 国内債のリファイナンス実績

2年分の償還資金を手元に常に維持する方針は変わらず  
 加えて国内社債調達市場での発行・償還の好循環は継続

(億円)

## 国内社債発行額



## 国内社債償還額

(注) FY2020以前の償還金額にはバイバックにより取得した社債の金額を含む

# FY2023 調達方針

## 今年度はリファイナンスベースでの調達が中心に

### 社債

**現時点ではリファイナンスを想定しており、積極的な追加調達を行う予定なし**

国内：年度末に国内リテール債のリファイナンスを予定

海外：ハイブリッド債のリファイナンスは完了（2023年4月）

- ESG債等の発行は都度検討

### ローン

**現時点で予定はなし**

ハイブリッドローンの借入は実行完了（2023年5月）

コミットメントラインは年度の定期更改を実行予定（Q2）

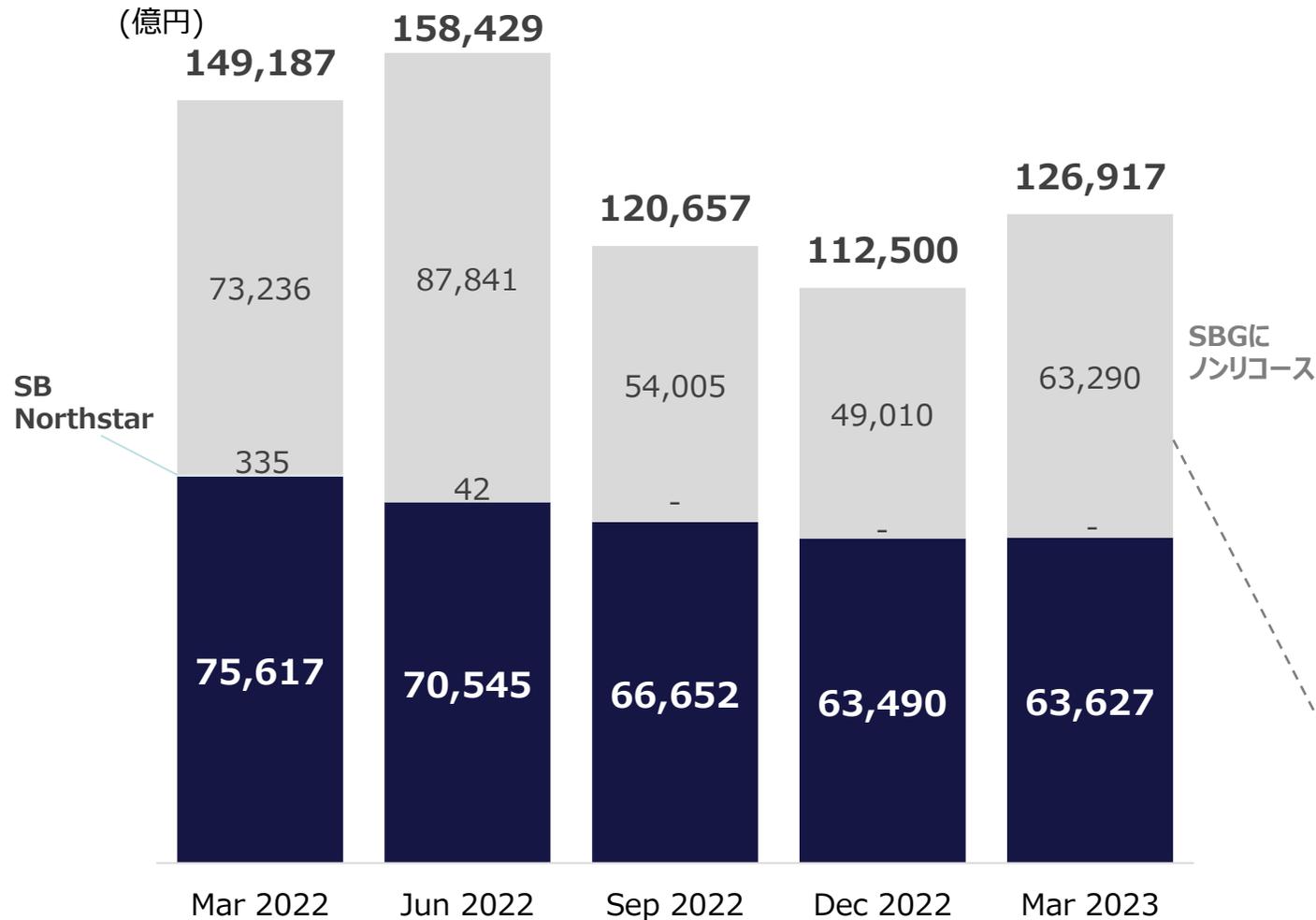
### アセットを活用した 資金調達

**アセットの活用は債務ストラクチャーに鑑みながら都度検討**

アリババ株式を活用した資金化はほぼ完了（2023年5月）

# SBG単体 有利子負債\*1

## 2022年3月期末対比、 ノンリコース分を含む有利子負債を約2.2兆円削減



2022年12月末からの主な変動要因	
• 株式先渡売買契約の締結	+\$11.0B (アリババ)

2023年3月末 内訳		(億円)
SBG 借入金	対12月末	
銀行借入	2,982	+128
ハイブリッドローン	837	0
その他	-	-
小計	3,819	+128
<b>SBG 社債・CP</b>		
国内シニア債	22,734	+10
国内劣後債/ハイブリッド債	16,265	+6
外債	18,531	+301
CP	1,610	-320
小計	59,140	-2
<b>SBG リース負債</b>	107	-3
<b>子会社 有利子負債</b>		
株式先渡契約金融負債	42,636	+14,120
ドイツテレコム株式を活用したカラー取引	4,413	+86
ソフトバンク株式を活用したマージンローン	4,974	-24
アーム株式を活用したアセットバック・ファイナンス	11,266	+98
その他	561	+14
小計	63,851	+14,294
<b>合計</b>	<b>126,917</b>	<b>+14,417</b>

\*1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計

# SBG単体 手元流動性

## 大幅な負債削減を実施にも関わらず、2022年3月期末対比約1.4兆円増加

(億円)



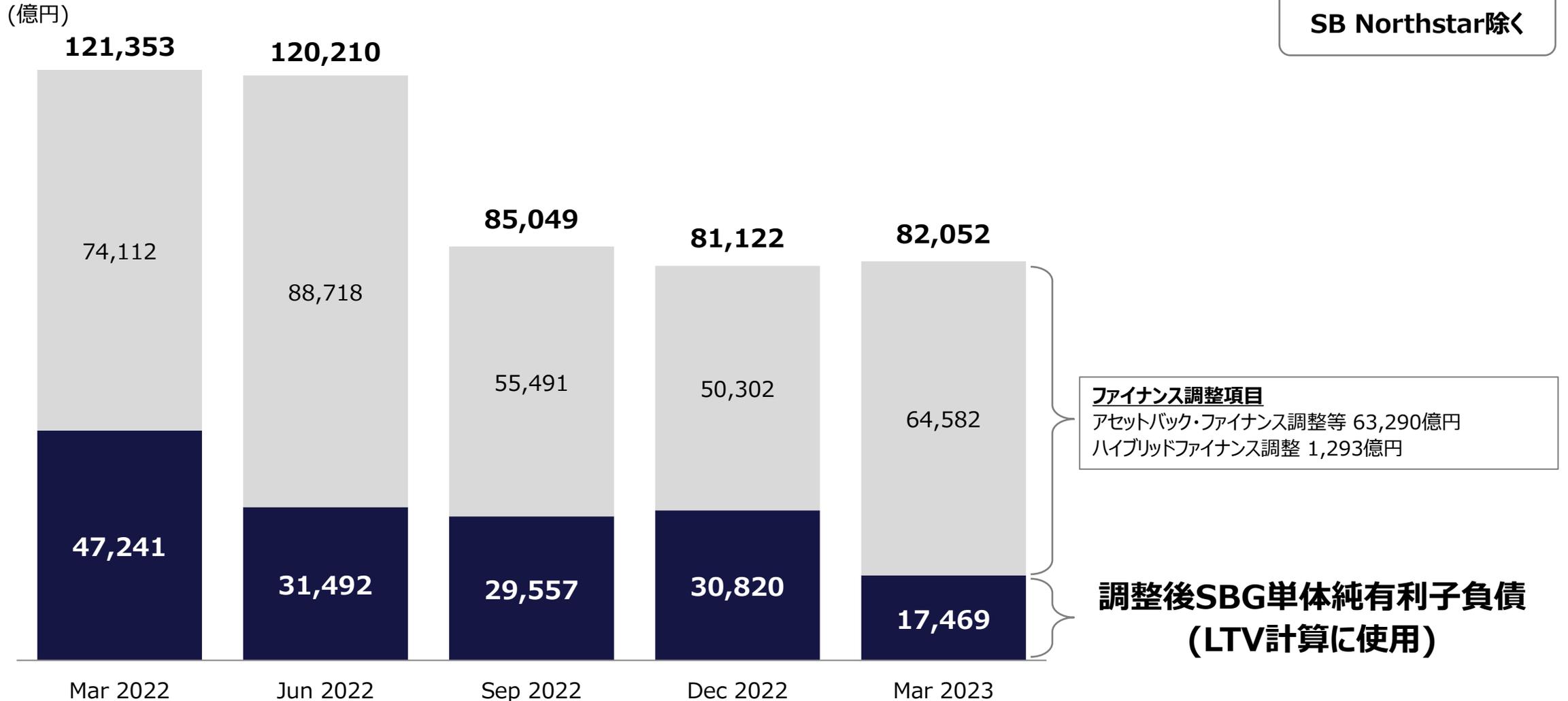
### 2022年12月末からの主な変動要因

増加	減少
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アリババ株式を活用した株式先渡売買契約 (+11.0B)</li> <li>・SBKKマージンローン組成 (+5,000億円)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SBKKマージンローン返済 (-5,000億円)</li> </ul>

(注) 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資(資産運用子会社からの投資等)。SBG単体ベース

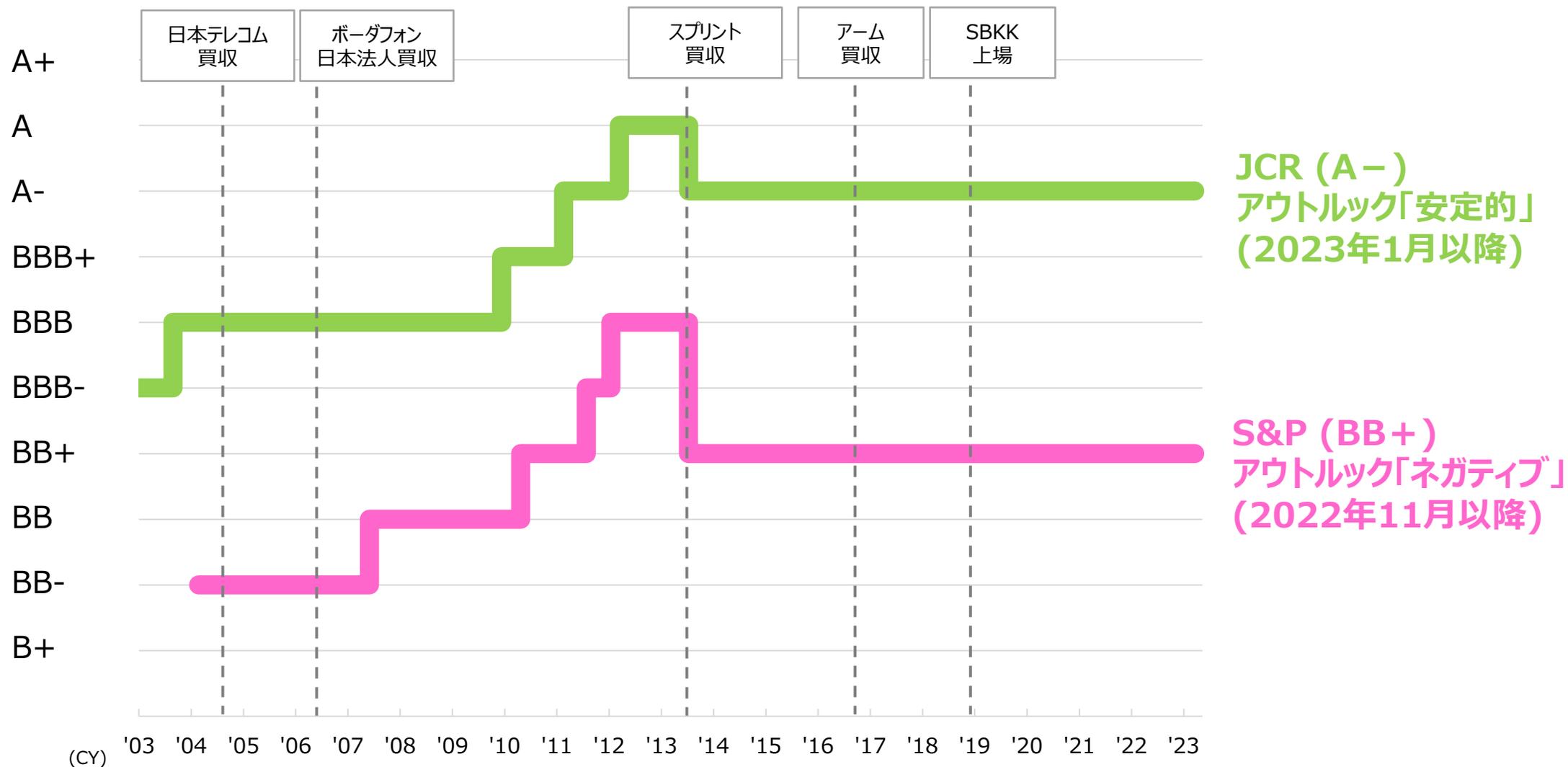
# SBG単体 純有利子負債

## 調整後純有利子負債は1.7兆円の低水準まで大幅に減少



(注) 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」を参照

# SBGの格付推移



(注) 2023年5月11日時点

# 格付機関とのコミュニケーション

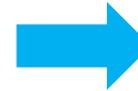
経営陣を交えて格付機関との親密な対話を継続  
格付機関の懸念を十分に払しょくできる財務改善をすでに実現

## 格付機関の懸念点

ポートフォリオの上場株比率が回復しない

大幅なポートフォリオ価値の下落によってLTVが悪化

ファンドからの資金回収が遅れるなか、投資が急拡大し、流動性が悪化  
投資環境は著しく悪化しており、不透明感が強い



## 当社の現状

上場株比率は、アームの新規株式公開が実現した場合<sup>\*1</sup>には大幅に回復見込み  
上場株の減少分は主に資金化によるものであり、結果、最も流動性が高い現預金が大幅増

厳しい環境下に守りを固め、LTVを11.0%へ大幅改善

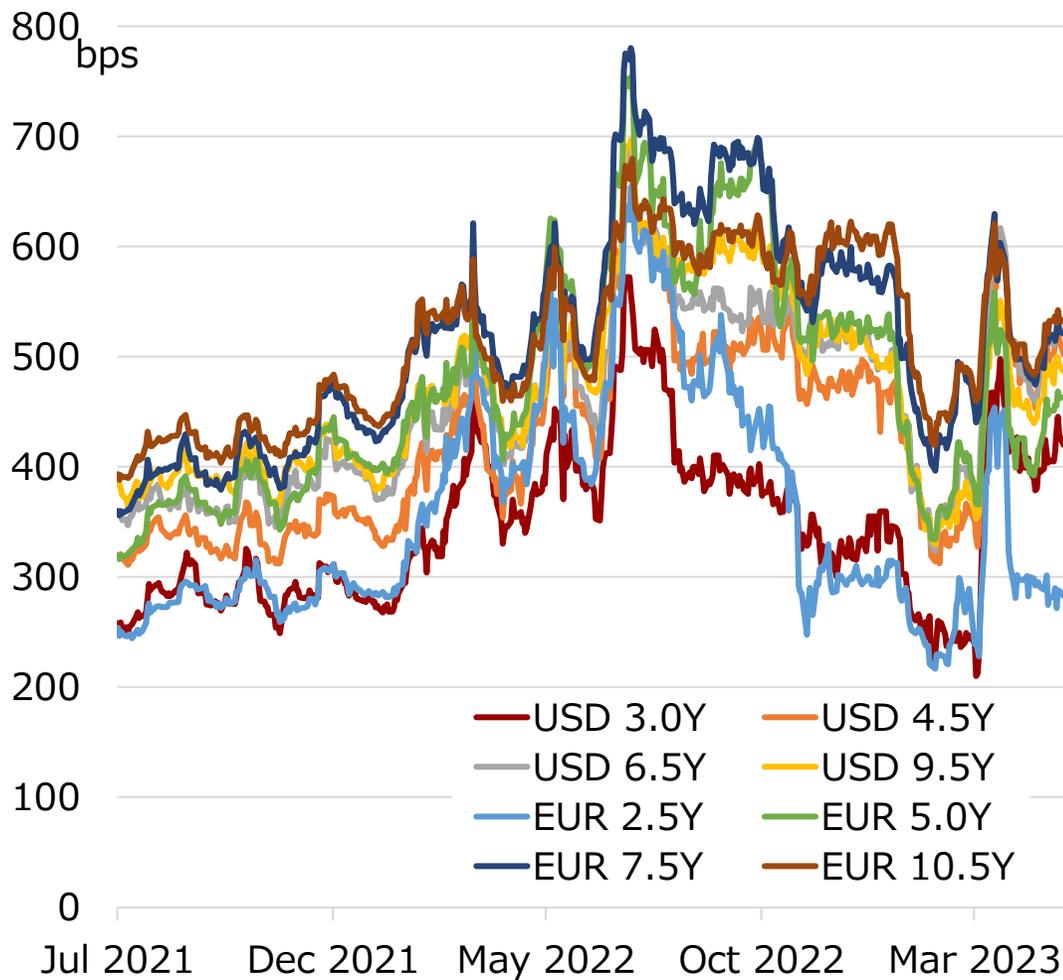
投資ペースを完全にコントロールし、5兆円以上の手元流動性を確保

上場株のバリュエーションに回復の兆し

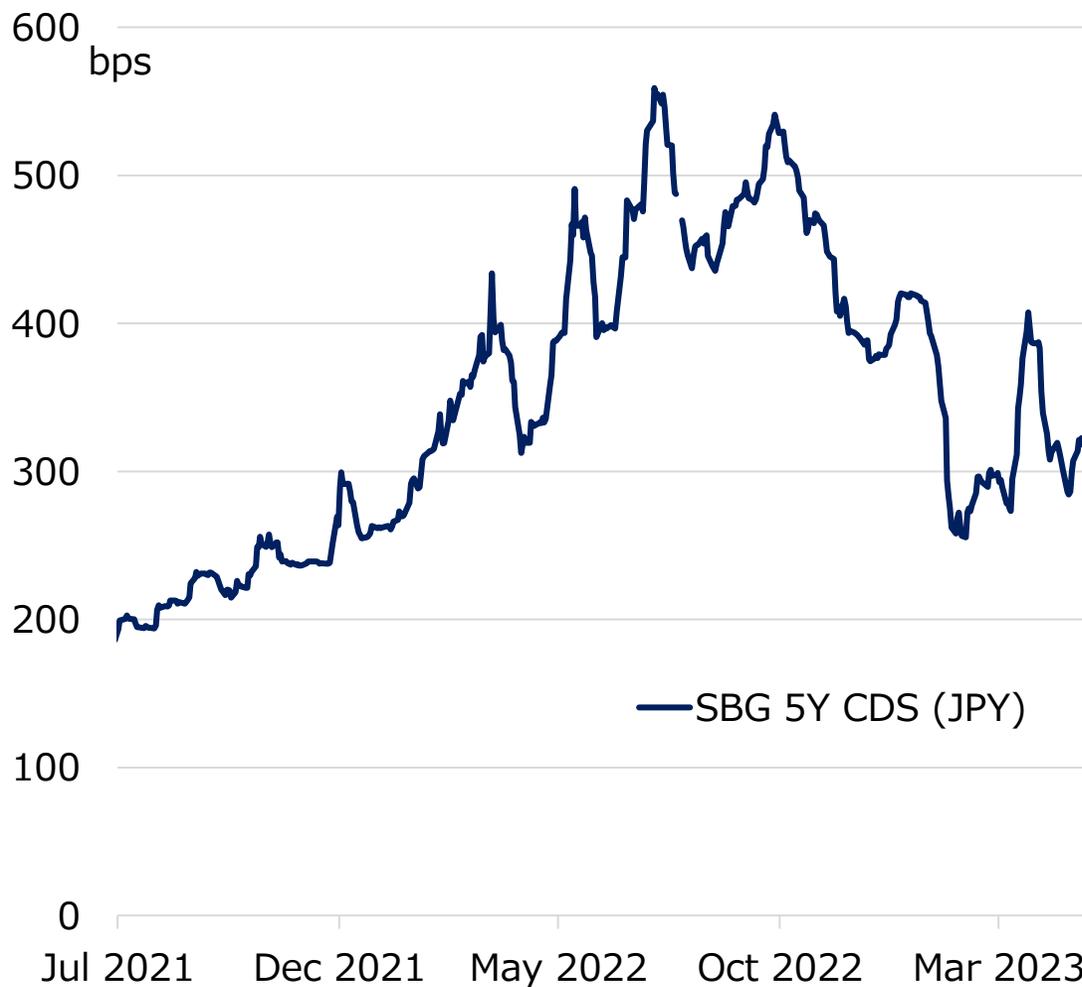
\*1 本新規株式公開の規模及び価格帯はまだ決定されていない。本新規株式公開は、市場及びその他の状況、並びにSECによる審査プロセスの完了を条件としている。本件に関する詳細は、「Arm LimitedによるForm F-1登録届出書ドラフトのコンフィデンシャル・サブミッションに関するお知らせ」(<https://group.softbank/news/press/20230501>)を参照

## 米国の金融システムへの不安から2023年3月に一時ワイド化

### SBG シニア外債スプレッド



### SBG 5年CDS



(注) 2023年5月8日時点。Bloombergを基に当社作成。2021年7月発行のシニア外債のZスプレッドを参照

財務方針の堅持

「守り」「攻め」  
両面に対応  
できる財務運営

**1**

**通常時 LTV25%未満 で運用 (異常時でも上限35%)**

**2**

**少なくとも 2年分の社債償還資金 を保持**

**3**

**SVFや子会社から 継続的な配当収入 を確保**

更なるダウンサイド  
にも耐える「守り」

財務の安全性を  
維持しつつ  
情報革命を牽引する  
投資は実行

通常時 LTV25%未満で運用  
(2023年3月末 LTV = 11.0%)

少なくとも2年分の社債償還資金を保持  
(2023年3月末 手元流動性 = 5.1兆円)

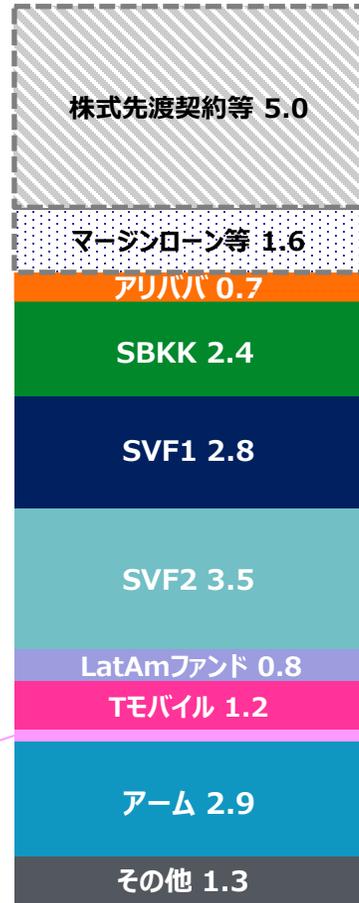
# Appendix

# 2023年3月末：保有株式価値（算出方法）

1USD=133.53円

(兆円)

22.5兆円  
(調整前)



15.9兆円  
(調整後)

ドイツテレコム  
0.3

保有株式価値  
(調整後)

0.7兆円

2.4兆円

2.8兆円

3.5兆円

0.8兆円

1.2兆円

0.3兆円

2.9兆円

=

保有株式価値  
(調整前)

4.8兆円

保有株式数 355百万株\*1 × 株価 \$ 102.18\*1

2.9兆円

保有株式数 1,915百万株 × 株価 1,529円

2.8兆円

各ファンドの保有資産価値相当 × SBG 持分 + 成功報酬等

3.5兆円

0.8兆円

1.6兆円

保有株式数 40百万株\*2 × 株価 \$ 144.84 + 条件付対価\*3

0.7兆円

保有株式数 225百万株 × 株価 €22.350

4.0兆円

公正価値 × SBG 持分

アセットバック・ファイナンス  
調整額

株式先渡契約等  
4.1兆円

マージンローン等  
0.6兆円

カラー契約  
0.4兆円

カラー取引  
0.4兆円

アセットバック・ファイナンス  
1.1兆円

Mar 2023

(注) 各計算式の詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細」および「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債 詳細」を参照

\*1 SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数および同証券の株価 \*2 ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象となる株式数を含む。

\*3 一定の条件下でTモバイル株式をSBGとその子会社が取得できる権利の公正価値

# LTVの算出：SBG単体 保有株式価値

(L) 調整後 SBG単体 純有利子負債

1.75兆円

= 11.0%

(V) 調整後  
SBG単体 保有株式価値\*1

15.87兆円



アリババ	+4.84	SBKK	+2.93	Tモバイル	+1.62	SVF1	+2.80
アセットバック・ファイナンス	-4.13	アセットバック・ファイナンス	-0.56	アセットバック・ファイナンス	-0.38	SVF2	+3.52
<b>アリババ (調整後)</b>	<b>+0.71</b>	<b>SBKK (調整後)</b>	<b>+2.37</b>	<b>Tモバイル (調整後)</b>	<b>+1.23</b>	LatAmファンド <sup>〃</sup>	+0.79
ドイツテレコム	+0.73	アーム	+3.99				
アセットバック・ファイナンス	-0.45	アセットバック・ファイナンス	-1.13				
<b>ドイツテレコム(調整後)</b>	<b>+0.28</b>	<b>アーム (調整後)</b>	<b>+2.87</b>				

(注) 2023年3月末時点

\*1 調整後SBG単体保有株式価値の各アセット別の詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細」を参照

# LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細①

(兆円)

保有株式	金額	計算方法
<b>(a) アリババ</b>	<b>0.71</b>	
調整前	4.84	SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数×同証券の株価
アセットバック・ファイナンス調整	-4.13	複数の株式先渡し買契約（フロア契約・カラー契約・フォワード契約・コールスプレッド）のうち、未決済分の満期決済金額（2023年3月31日の同社株価（米国預託証券）で算出）の合計額（4兆1,276億円）
<b>(b) SBKK</b>	<b>2.37</b>	
調整前	2.93	SBGの保有株式数×同社株価
アセットバック・ファイナンス調整	-0.56	SBKK株式を活用したマージンローン負債残高相当額等（5,606億円）
<b>(c) SVF1</b>	<b>2.80</b>	SVF1の保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
<b>(d) SVF2</b>	<b>3.52</b>	SVF2の保有資産価値相当に対するSBGの持分等
<b>(e) LatAmファンド</b>	<b>0.79</b>	LatAmファンドの保有資産価値相当に対するSBGの持分+成功報酬の見込み金額
<b>(f) アーム</b>	<b>2.87</b>	
調整前	3.99	SVF1において算出されたアームの全株式の公正価値に基づくSBG持分の公正価値（希薄化前の発行済株式に対するSBGの持分：75.01%）
アセットバック・ファイナンス調整	-1.13	SBGが保有する同社株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入の負債残高相当額（1兆1,266億円）

(注) 2023年3月末時点

# LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細②

(兆円)

保有株式	金額	計算方法
<b>(g) Tモバイル</b>	<b>1.23</b>	
調整前	1.62	SBGの保有株式数（ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象となる株式数（2023年3月末時点：34,971,809株）を含む）×同社株価 + 一定の条件下でTモバイル株式(48,751,557株)をSBGが無償で取得できる権利の公正価値 + Tモバイルによる現金強制転換証券を発行する信託へのTモバイル株式の売却取引に関連して受領した、一定の条件下でSBGの子会社がTモバイル株式を取得できる権利の公正価値
アセットバック・ファイナンス調整	-0.38	下記のアセットバック・ファイナンスの決済に必要な金額を控除 ・ドイツテレコムが保有する未行使の株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債 ・Tモバイル株式を活用した株式先渡売買契約（カラー契約）の満期決済金額（同社株価で算出）（3,821億円）
<b>(h) ドイツテレコム</b>	<b>0.28</b>	
調整前	0.73	SBGの保有株式数×同社株価
アセットバック・ファイナンス調整	-0.45	2021年10月に実行した同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額（4,454億円）
<b>(i) その他</b>	<b>1.30</b>	上場株式：SBGの保有株式数×各上場株式の株価 非上場株式：SBGが保有する未上場株式等の公正価値（公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価）に基づいて算出 SB Northstar（上場株投資）：SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分 + SBGが保有するNVIDIA Corporation株式数×同社株価
<b>SBG単体 調整後保有株式価値</b>	<b>15.87</b>	<b>財務編P39からの(a)～(i)までの合計額</b>

(注) 2023年3月末時点

# LTVの算出：SBG単体 純有利子負債

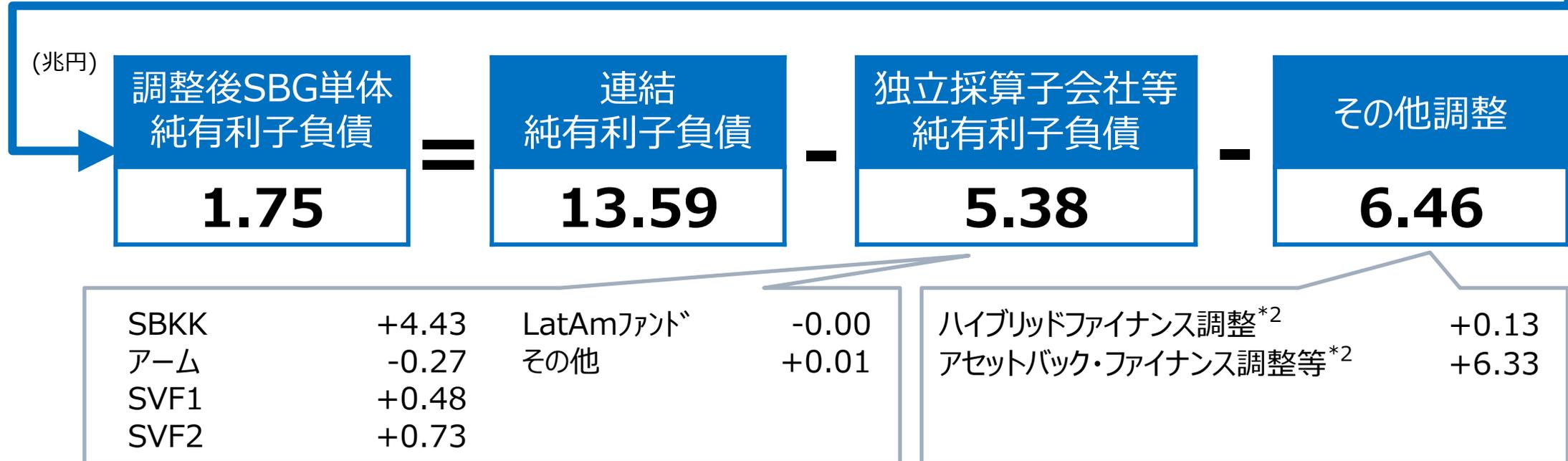
(L) 調整後  
SBG単体 純有利子負債\*1

1.75兆円

= 11.0%

(V) 調整後SBG単体 保有株式価値

15.87兆円



(注) 2023年3月末時点

\*1 各事業の純有利子負債はSBG連結外部に対する有利子負債のみ。PayPay銀行の「銀行業の預金－手元流動性」は含まない。

\*2 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債 詳細」を参照

# LTVの算出：SBG単体 純有利子負債 詳細

(兆円)

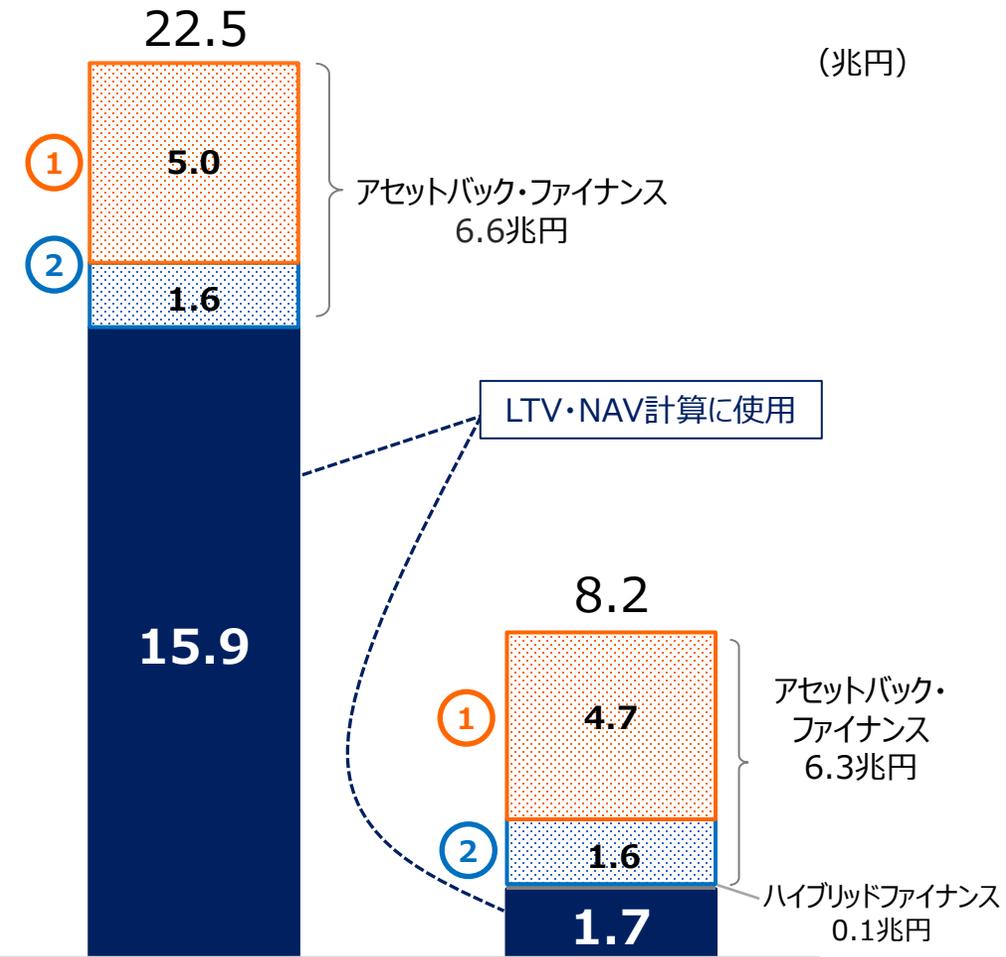
SBG単体 調整前純有利子負債		8.21	連結純有利子負債-独立採算子会社等の純有利子負債
ハイブリッドファイナンス調整	-0.13		・2017年7月発行のハイブリッド債は、連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入 ・2016年9月・2021年2月・2021年6月発行のハイブリッド債および17年11月実行のハイブリッドローンは、連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除
アセットバック・ファイナンス調整等	-6.33		
アリババ	-3.82		アリババ株式を活用した複数の株式先渡売買契約（フロア契約・カラー契約・フォワード契約）に係る株式先渡契約金融負債（3兆8,237億円）
アーム	-1.13		同社株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入の負債残高相当額（1兆1,266億円）
Tモバイル	-0.38		Tモバイル株式を活用した株式先渡売買契約（カラー契約）に係る株式先渡契約金融負債（3,762億円）
ドイツテレコム	-0.44		2021年10月に実行したドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額（4,413億円）
SBKK	-0.56		SBKK株式を活用したマージンローン負債残高相当額等（5,611億円）
SBG単体 調整後純有利子負債		1.75	

(注) 2023年3月末時点

# LTV・NAV計算におけるアセットバック・ファイナンス調整

ノンリコースのアセットバック・ファイナンスはデットから控除  
同時に、決済に必要となるアセット価値をアセットから控除

	① フォワード／カラー／プット	② マージンローン等
主な対象株式	アリババ	SBKK／アーム
内容	株式先渡契約*1に基づく資金調達 (SBGにノンリコース)	株式を担保に借入を行う資金調達 (SBGにノンリコース)
デット控除額	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バランスシート計上金額</li> <li>・株価に関係なく不変</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バランスシート計上金額</li> <li>・株価に関係なく不変</li> </ul>
アセット控除額	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期末株価を基に算出した満期決済金額の想定額</li> <li>・株価水準によって変動</li> </ul>	返済に必要なアセット相当額 (バランスシート上のデット計上額)
株価下落の影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フロア価格を下回る株価では受渡金額が減少</li> <li>・追加担保等や期限前返済は不要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の株価水準を下回る場合、追加担保や期限前返済が必要</li> <li>・返済金額は不変</li> </ul>



(注) 2023年3月末時点  
\*1 あらかじめ合意された価格 (フォワード) または価格レンジ (カラー・プット) で満期に対象株式を売買する契約を締結する。

# (参考) フォワード取引、カラー取引

<p><b>目的</b></p>	<p>デリバティブを活用したノンリコースの資金調達</p>
<p><b>概要</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 将来時点で、当初合意した価格もしくはレンジで決済する取引</li> <li>• 株式担保とそれを参照するデリバティブを見合いに資金調達</li> <li>• 原則、満期において現金と株式による決済のいずれも選択可</li> <li>• 株価下落で満期時の決済金額が減少、株価上昇で増加する</li> </ul>
<p><b>フォワード取引</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 担保株式を、あらかじめ合意した先渡価格で決済</li> <li>• 決済価格は、担保株式の株価変動にかかわらず固定。よって将来の株価上昇によるアップサイドは享受できない</li> </ul>
<p><b>カラー取引</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 担保株式を、あらかじめ合意した価格レンジで決済</li> <li>• 株価下落時でも、価格レンジ下限で決済可。他方、株価上昇によるアップサイドは価格レンジ上限に限定</li> </ul>

# 連結：有利子負債、手元流動性、純有利子負債

連結有利子負債\*1

(単位:億円)

	Mar 2022	Jun 2022	Sep 2022	Dec 2022	Mar 2023
<b>SBG単体</b>	149,187	158,429	120,657	112,500	<b>126,917</b>
うち、SB Northstar	335	42	-	-	-
<b>SVF1&amp;2、LatAmファンド</b>	10,773	14,134	14,811	13,199	<b>13,227</b>
<b>ソフトバンク事業</b>	59,994	62,202	61,350	62,096	<b>61,347</b>
<b>その他（アーム等）</b>	3,282	3,744	1,782	1,652	<b>1,661</b>
<b>合計</b>	<b>223,236</b>	<b>238,509</b>	<b>198,600</b>	<b>189,448</b>	<b>203,152</b>

連結手元流動性\*2

(単位:億円)

	Mar 2022	Jun 2022	Sep 2022	Dec 2022	Mar 2023
<b>SBG単体</b>	30,799	39,448	36,374	31,734	<b>45,284</b>
うち、SB Northstar	3,300	1,271	766	356	419
<b>SVF1&amp;2、LatAmファンド</b>	2,003	733	502	1,026	<b>1,120</b>
<b>ソフトバンク事業</b>	12,219	12,488	13,925	18,254	<b>17,022</b>
<b>その他（アーム等）</b>	7,208	6,671	6,478	3,661	<b>3,830</b>
<b>合計</b>	<b>52,229</b>	<b>59,341</b>	<b>57,279</b>	<b>54,675</b>	<b>67,255</b>

連結純有利子負債\*3

(単位:億円)

	Mar 2022	Jun 2022	Sep 2022	Dec 2022	Mar 2023
<b>SBG単体</b>	118,388	118,981	84,283	80,766	<b>81,633</b>
うち、SB Northstar	-2,965	-1,229	-766	-356	-419
<b>SVF1&amp;2、LatAmファンド</b>	8,770	13,401	14,310	12,174	<b>12,107</b>
<b>ソフトバンク事業</b>	47,775	49,713	47,425	43,842	<b>44,325</b>
<b>その他（アーム等）</b>	-3,927	-2,927	-4,696	-2,009	<b>-2,168</b>
<b>合計</b>	<b>171,006</b>	<b>179,168</b>	<b>141,321</b>	<b>134,773</b>	<b>135,897</b>

\*1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計。PayPay銀行の銀行業の預金は含まない。

\*2 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資。PayPay銀行の手元流動性は含まない。

\*3 PayPay銀行の「銀行業の預金 - 手元流動性」は含まない。マイナス表記はネットキャッシュ